

# キスよりさきに 恋よりはやく

オフィシャルファンブック  
*Official Fan Book*



produced by



ISBN978-4-7756-0399-4

C0076 ¥2200E



9784775603994



彩文館出版

定価：(本体 2,200 円 + 税)

URL [www.saibunkan.co.jp](http://www.saibunkan.co.jp)

MAIL [welcome@saibunkan.co.jp](mailto:welcome@saibunkan.co.jp)

mobile [www.saibunkan.jp](http://www.saibunkan.jp)



1920076022005

キスよりさきに  
恋よりはやく  
オフインシャルファンブック



好評発売中

ツインテールブックス

とつぱら ~ざしきわらしのはなし~  
オフィシャルファンブックA4判/128P  
定価2,200円+税(税込2,310円)ISBN 978-4-7756-0378-9  
©2008 Hobibox/Caramelbox All rights reserved艶女医 (えんじょい)  
オフィシャルファンブックA4判/112P  
定価2,200円+税(税込2,310円)ISBN 978-4-7756-0286-7  
©2007 KaGuYa君が主で執事が俺で  
オフィシャルファンブックA4判/144P  
定価2,600円+税(税込2,730円)ISBN 978-4-7756-0264-5  
©みなとそふと 2007幼なじみと甘〜くエッチに  
過ごす方法  
オフィシャルファンブックA4判/112P  
定価2,200円+税(税込2,310円)ISBN 978-4-7756-0232-4  
©2007 KaGuYa

ツインテールノベルズ

カバー&amp;本文イラストは、ゲーム版で原画を担当した唐辛子ひでゆ描き下ろし!

上下巻の第一巻「蝶のみた夢」編、好評発売中!

続巻「~箱の中の猫~」編は2009年7月下旬発売決定!

キスよりさきに恋よりはやく  
~蝶のみた夢~

原作: SkyFish 著: 柚木ヒロ

定価940円+税(税込987円)

ISBN 978-4-7756-0392-5  
©2008 Hobibox/SkyFish All rights reservedキスよりさきに恋よりはやく  
~箱の中の猫~

原作: SkyFish 著: 柚木ヒロ

価格未定

©2008 Hobibox/SkyFish All rights reserved  
\*デザイン等は変更する場合がありますのでご了承ください。

あんな乙姫とも、こんな瑠璃歌とも、はたまた意外や有海とも!?  
ラブラブ新婚生活をぜ〜んぶ召し上がれ!

ほんの少しのきっかけで、  
僕の隣りにいる彼女は、  
今とは違う顔を  
見せていたのかもしれない。

原画唐辛子ひでゆ描き下ろしカバー&ピンナップ

A3特製  
付録ピンナップ

# 唐辛子ひでゆが描く『きすこい』の世界を完全網羅!

ひろもりさかなをはじめシナリオライター陣が物語の秘密を明かす!?

## Character

ふとした仕草まで思い出す。  
キャラクター&設定詳細紹介

## Story & Event

彼女達と過ごした甘く切ない時間  
美麗CGで振り返るストーリー

## Making

秘蔵原画&設定も特別公開。  
唐辛子ひでゆの語る『きすこい』の世界





キスよりさきに恋よりはやく  
オフィシャルファンブック



# キスよりさきに 恋よりはやく



オフィシャルファンブック  
Official Fan Book

Hidays  
C.

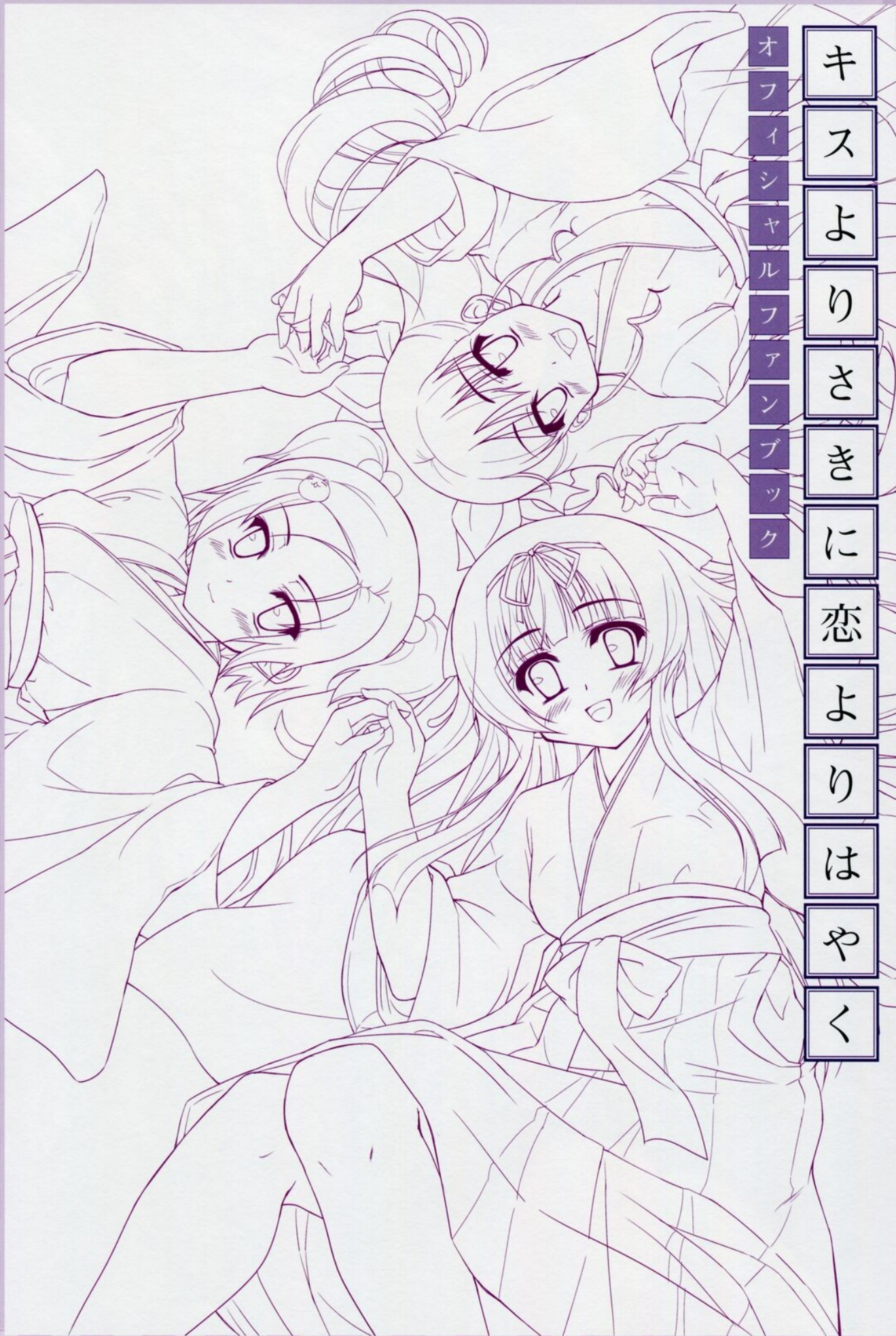


11月15日  
俺のニヨX ver

初めてXに原画をまかせていたおいて  
苦常お苦常お苦常お...ア? 苦常おか(笑)  
でもそのおキャラへの愛着もひとしお。  
と、おもい出深い作品だ。  
絵おとみると大好きな着物を描きまくる日おは  
かなり幸せだった気がしまる。もって描きたいY"↓







オフィシャルファンブック

キスよりさきに恋よりはやく





✿TECHGIAN 2008年8月号



婚姻届













✿メッセサンオーシート



◆ソフマップ抱き枕 乙姫



◆ソフマップ抱き枕 有海



✿ オフィシャル通販特典テレカ



✿ げっちゅ屋特典テレカ



✿ グッドウィル特典テレカ



✿ メディオ!特典テレカ



◆ラオックス特典テレカ



◆発売記念イラスト



◆PUSH!!! 2008年11月号



# Contents

## 目次

キスよりさきに恋よりはやく OFFICIAL FAN BOOK

イラストレーションギャラリー .....	002
<b>一 登場人物 .....</b>	<b>017</b>
プロローグ .....	018
登場人物相関図 .....	019
朝霧乙姫 .....	020
騎西瑠璃歌 .....	022
鶴ヶ島有海 .....	024
入間美万里 .....	026
春日部花蝶 .....	028
本庄ハヤタ／騎西範先 .....	029
香泉市の歩き方 .....	030
<b>二 蝶と猫 .....</b>	<b>031</b>
第一章 蝶の見た夢 .....	032
第二章 箱の中の猫 .....	038
第三章 夢のつづき .....	053
刻河村を訪ねて .....	054
<b>三 逢瀬 .....</b>	<b>055</b>
朝霧乙姫 .....	056
騎西瑠璃歌 .....	066
鶴ヶ島有海 .....	076
入間美万里 .....	084
春日部花蝶 .....	092
<b>四 秘録 .....</b>	<b>097</b>
キャラクターデザイン .....	098
秘蔵原画コレクション .....	108
シナリオライターインタビュー .....	120
スタッフコメント1 唐辛子ひでゆ .....	122
スタッフコメント2 ひろもりさかな .....	123
声優さんからひとこと .....	124
MANYO氏メールインタビュー .....	126
「きすこい」攻略ガイド .....	127



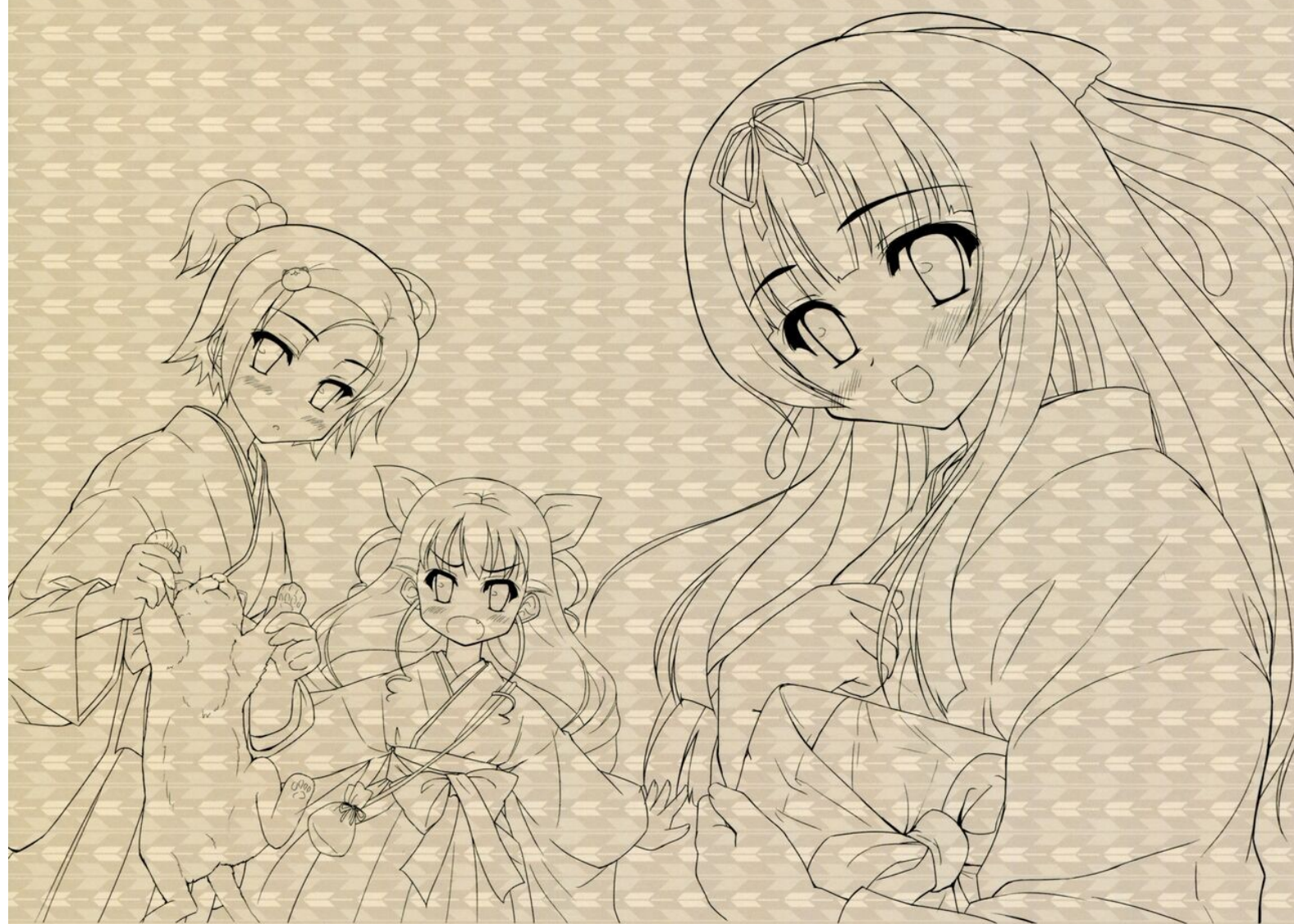



登

場

人

物





それは、あるひとつの約束から始まった。  
あるいは、発端すらも幾度も繰り返されていたのかもしれない。

刻河村に伝わる婚姻の儀にまつわる悲劇。  
「やり直し」を願う心が、運命に綻びを生じさせる。  
無数の可能性が重なりあう時間の中で、郁と乙姫は何を見出すのだろうか。

大宮郁は、何年かぶりに自分が育った村、  
刻河村に足を踏み入れた。  
そこで幼なじみの少女、朝霧乙姫と出会う。  
それは、懐かしい再会であると同時に、  
新しい恋の始まりをも予感させる出来事だった。

だが、ふたりの出会いは、悲劇の始まりでもあった。  
ふたりがもし結ばれれば乙姫は消滅し、  
乙姫が存在し続ける世界では決して結ばれることはない。  
すべてを理解した郁は、生まれもった不思議な力、  
この星のすべての時間、すべての可能性を知る存在  
「観測者」に干渉する力を使い、  
さまざまな時間や並行世界を垣間見る。

彼と乙姫がともに存在し続けられる  
“可能性”はどこかにあるのだろうか？  
それは彼が見出すしかないのだ。



朝

霧

乙

姫

*Itsuki Asagiri*

CV 草柳順子

PROFILE

身長 156cm  
 体重 47kg  
 3サイズ B86 / W53 / H83  
 血液型：O型



KEY WORD 01

大和撫子

清楚で和を愛し、甲斐甲斐しく旦那様に尽くすことを喜びとする。日本古来から理想とされてきた奥さん像そのもの。育った環境が影響してか、服装だけでなく味覚も和好み。桜餅やお萩が好物だったりする。



KEY WORD 02

家事はおまかせ!

妻として恥じない女性になるために、郁が去ってから料理や洗濯、掃除など家事全般を修行してきた乙姫。その腕前は相当なもので、電での炊事をはじめ、洗濯板を使った洗濯なども難くなくこなしてしまう。

お兄様は、私の旦那様ですから

郁の従妹で、幼なじみ。子供の頃、病弱だった郁が預けられた祖父の家で一緒に過ごし、兄妹のように育つ。成長につれ病状が回復した郁はやがて両親のもとへ戻り、いったん離れ離れになるが、乙姫は祖父が他界した後も家に残り続け、家事の腕を磨きつつ郁の帰りを待っていた。郁を兄として慕う一方、幼い頃に交わした許嫁の約束をずっと胸に秘めており、郁のお嫁さんになるのを夢見ている。



KEY WORD 03

お兄様 LOVE

とにかくお兄様のことが大好きな乙姫は、思考回路も郁中心。常に「お兄様の喜ぶこと」を考え、実践している。今まで孤独な時間を過ごしてきたこともあり、郁の傍にいて役に立ちたい、という思いが強いようだ。

# 衣装と表情 *Costume & Face Pattern*

普段和服を着ているときは胸にさらしを巻いているため小ぶりな印象だが 実はかなりグラマラスな乙姫。ただ、同年代の子と比べてかなり大きな胸を本人も気にしているようで 胸元を隠すような仕草が多くなっている。蝶をかたどった髪飾りは、子供の頃に郁からプレゼントされた思い出の品で乙姫の宝物。

私服



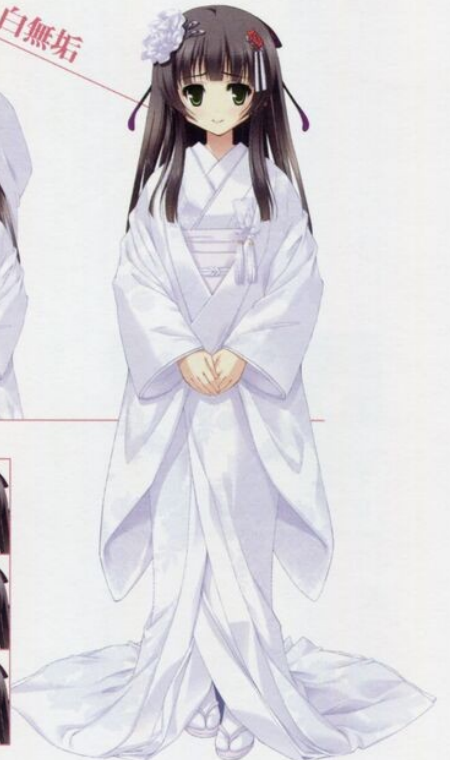
制服



ウェイトレス



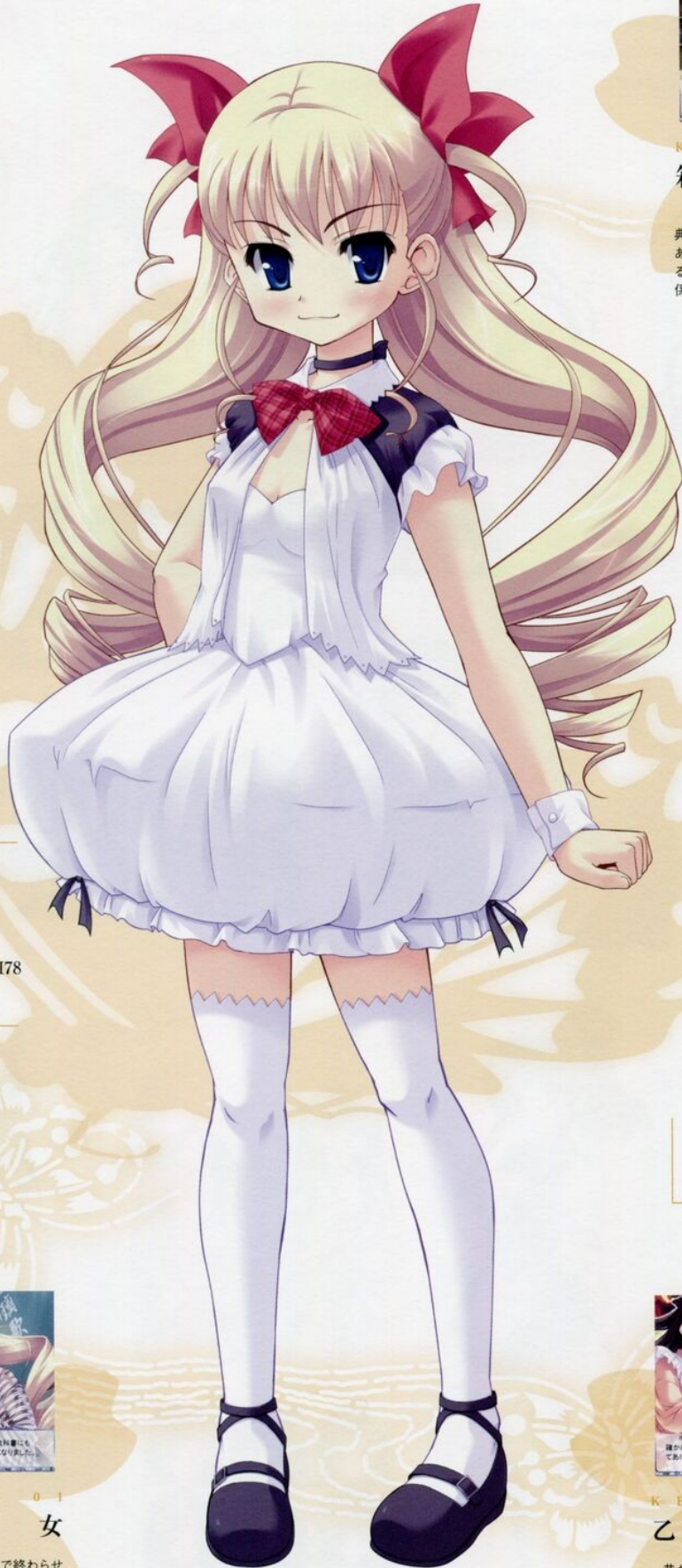
白無垢



# 騎西瑠璃歌

Rurika Kisai

CV 青葉りんご



KEY WORD 02

## 箱入り娘

大豪邸で暮らし、何不自由なく育てられた典型的なお嬢様タイプ。自信過剰なところがあるが、案外打たれ弱い一面も。過保護すぎる父の妨害(?)によってなかなか郁との関係が進展しないことが悩みの種。

## お兄ちやまの妹は、一人で十分だ!

香泉市の市長にして刻河村の村長代理も務める父(範先)とフランス人の母を持つハーフのお嬢様。郁の従妹にあたり、昔はよく一緒に遊んでいたが、乙姫と郁を取り合っていた。両親が別居してからは母とともにフランスで暮らしていたが、郁が帰郷することを知り、すべてを放り出して慌てて日本へ帰ってくる。その外見や言動からは想像もつかないが、実は超がつく天才だったりする。

### PROFILE

身長 145cm  
 体重 38kg  
 3サイズ B76 / W54 / H78  
 血液型 O型



KEY WORD 01

## 天才少女

フランスでは大学院卒業課程まで終わらせており、研究所にも席を置いていた経歴を持つ才女。ただし興味のある分野は限られているため、普段の生活ではその才能を発揮する機会はありません……。



KEY WORD 03

## 乙姫のライバル?

昔から郁の妹の座をかけて争っていた乙姫には、強いライバル心を燃やす瑠璃歌(友達としては好きなのだ)。しかし、家事が最大の苦手で体型にも自信がない彼女は、乙姫にコンプレックスを抱いている様子。

# 衣装と表情 *Costume & Face Pattern*

年齢に比べて身長が低く 出るところもまだ出ていないおこちゃま体型の瑠璃歌。私服やウエイトレスの制服など、フリルがついた洋服を着ると、まるでお人形さんのような可愛らしさだ。ちょこまかと周囲を動き回り 笑ったり泣いたり怒ったり くるくると表情を変える元気のよさが彼女の魅力。

✿ 私服



✿ 制服



✿ ウェイトレス



# 鶴ヶ島有海

Arumi Tsurugashima

CV・上田朱音

## PROFILE

身長 153cm  
 体重 42kg  
 3サイズ B80 / W56 / H79  
 血液型 B型



### KEY WORD 01

## 猫大好き

猫にシンパシーを感じるのか、捨て猫や野良猫を見たと放っておかず 喫茶店裏にある自分の部屋では大量の猫を飼っている有海。学園でも、校舎の裏庭で密かに猫と遊んでいるらしい。



### KEY WORD 02

## クールな性格？

あまり感情を表に出さず 会話は言葉少なめ。どこか遠観したような雰囲気もあり、冷静なツッコミ役といったところ。とはいえ、聞き捨てならない妙に意味深な発言が多く、本人もツッコまれることが多々あり。

## 興味があるのは、パパのことかな

香泉女子学園に通う、乙姫や瑠璃歌の友人。香泉市の商店街で、父親が営んでいるという喫茶店「睡猫（れもにゃん）」を手伝っているものの、いつも店に出ているのは有海ひとり。詳しい素性は謎に包まれた、少し風変わりな女の子である。本人曰く、郁の親戚だというのが、郁自身の記憶ははつきりしない。なぜか郁のことを「パパ」と呼び、「婚姻の儀」や「やり直しの儀」の花嫁役にも立候補する。



### KEY WORD 03

## 謎めいた言動

特に物語の序盤は、有海のつぶやく言葉は断片的なうえ、行動も唐突なので、その解釈に困ることがしばしば。実は物語の鍵を握る重要な人物のひとりであり、やがては彼女の言動が謎を紐解く道標となる。

# 衣装と表情 *Costume & Face Pattern*

若干つり上がり気味の腫やしなやかそうなスラッとしたプロポーション 飄々とした雰囲気から、本人も大好きな猫を思わせる有海。普段はどこか大人びた、人を観察するようなクールな表情が多い彼女だが 猫の髪飾りを愛用するなど、身につけているものには歳相応の女の子らしい可愛らしさがある。



制服



私服



ウェイトレス



# 人間美万里

Mimari Iruma

CV. まきこみ

## PROFILE

身長：163cm  
 体重：51kg  
 3サイズ B95 / W53 / H88  
 血液型 A型



KEY WORD 02

## お姉ちゃん

子供のころ、郁と一緒に暮らしていた時期があり、彼女が年上だったために自然と姉と弟のような関係になる。少し過保護なところもあるが、安心して甘えられる存在であることは確か。

## お姉ちゃんがご飯作りに行つてあげる

郁の同僚の教師。郁よりひとつ年上の親戚のお姉さん。実際に姉のような存在で、小さいころだけでなく、大学時代や就職時もなにかと世話を焼いてくれた。真面目で几帳面な性格で、郁に厳しく接することもあるが、事情さえ許せば甘やかしたいようだ。乙姫と郁の同棲を知って驚くが、きつと清い関係を続けてくれるだろうと信じている。花蝶とは姉妹だが両親が離婚したため、別々に育った。



KEY WORD 01

## マジメ一筋

学生時代からマジメ一筋で生きてきたため、他人にはすこし堅苦しい印象を与えることも。とはいえ、教師としての仕事に誠実に向き合っており、郁は彼女のそういった面を心から尊敬している。



KEY WORD 03

## 恋には奥手

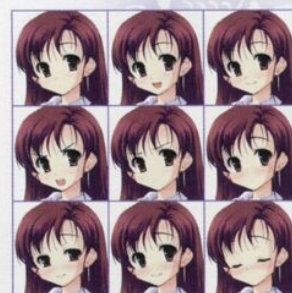
必要以上にマジメに生きると、恋には奥手になってしまうもの。美万里もその類にもれず、恋愛経験などは皆無である。そのため、自分の郁への気持ちを、姉としての愛情と勘違いしているフシも。

# 衣装と表情 *Costume & Face Pattern*

ピシッとした格好をしようとしているのに、巨乳を隠し切れないアンバランスなスーツ姿と、イメージチェンジ後のハデさのギャップが面白い。ガーターは教師としては少しやりすぎな気もする(笑)。表情はどちらも柔らかい印象だが イメージチェンジ後の表情は大人っぽい雰囲気のものが増えている。



イメージチェンジ



## Columnne キャラクターの性格変化について

さまざまな可能性の世界が描かれる本作『きすこい』では、描かれる世界によってキャラクターの性格が変化することも多い。また、性格が変化しなくとも、知っている情報が微妙に異なったり、行動が変わることもある。

特に乙姫と瑠璃歌は性格の変化が顕著なキャラクターだ。『蝶の見た夢』と『箱の中の猫』で 会話のボケ役とツッコミ役が逆になるほど。

物語的には、この違いが運命の違いに結びつくとも解釈できるが 単純に同じデザインで2つの性格を楽しめるという認識も間違いではない……？

### 乙姫の場合

『蝶の見た夢』の乙姫はウブでおしとやかで、エッチのときも従順。まさに大和撫子といった風情。しかし『箱の中の猫』では、そこにスパイスとして腹黒さ加わる。



### 瑠璃歌の場合

瑠璃歌は『蝶の見た夢』でははじけまくったキャラクター。郁への想いも隠そうとすらしらない。『箱の中の猫』ではわりとしっかり者であり、乙姫にいじられるハメに。



# 春日部花蝶

*Kachou Kasukabe*

CV 宮沢ゆあな

## PROFILE

身長 172cm  
 体重 55kg  
 3サイズ B86 / W60 / H89  
 血液型 AB型



何なら……送り狼にでもなってみる？

郁の勤務先である香泉女子学園の学園長代行。美万里とは姉妹だが、両親が離婚したために離れて暮らしている。酒やタバコが大好きで、生活態度もだらしない。しかし教師と医師の両方の資格を持つ、なかなかの才媛でもある。刻河村の祭に関する自説を郁に披露するなど、専門分野以外でも鋭い洞察力を発揮することも。美万里とは基本的に仲がいいが、性格が正反対なので意見がぶつかりがち。

## 表情

*Face Pattern*



KEYWORD

実は才媛

おおざっぱで適当なことは確かだが、それは知性が高く、何事も先が見えてしまうがため。また、何事も人任せにする傾向があるので、ますます本人の優秀な能力は分かりにくい。自業自得な気がするが……。



# 本庄ハヤタ

Hayata Honjou

CV ルネッサンス山田

PROFILE

身長：182cm  
 体重：75kg  
 血液型 A型



## 表情

Face Pattern



さあ……君も早くコッチへ来いよ

郁や美万里の同僚の教師。すらっとした長身で、親しみやすいハンサム顔だが、周囲に浮いた話ひとつない。それもそのはず、彼の魂は二次元の美少女たちに強く惹かれている。郁には好感を持っており、彼を事あるごとに二次元の世界に引きこもうとする。

# 騎西範先

Norisaki Kisai

CV 胸肩腎

PROFILE

身長 190cm  
 体重：110kg  
 血液型：O型



## 表情

Face Pattern



瑠璃歌ちゃんっ！パパを呼んだかいつ!?

香泉市の市長にして瑠璃歌の父親。郁の叔父であり、後見人的な立場でもある。基本的には善良だが、溺愛する娘のためならどんな手段を取ることもためらわない。香泉市のさらなる発展のため、刻河祭を観光の目玉にしようと考えている。



background Graphics

旧き時代の趣を残す“西の魚市場”

# 香泉市の歩き方

『きすこい』の物語の主な舞台となる街、香泉市。古くは魚の取引で栄えた都市だが、古い建物が立ち並ぶ街の佇まいが人気となり、今では観光地として有名になっているとか。

## 香泉市駅前

鉄道で街を訪れた人を最初に出迎えるのが、この駅前広場である。建物は最近建て直され、近未来的な雰囲気を醸し出している。なお、駅前から刻河村方面に延びる道路を使えば、約1時間で刻河村に行くことが可能だ。



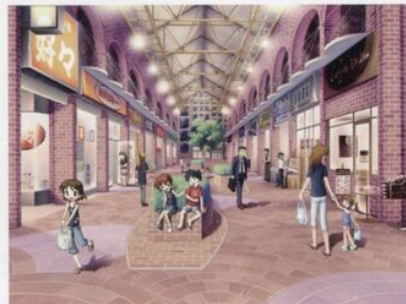
## 時計塔

市街地の北の丘にある公園には、街のシンボルとも言える時計塔が立っている。かつての香泉市の繁栄を物語るモニュメントであり、市民の憩いの場として今も愛されている。



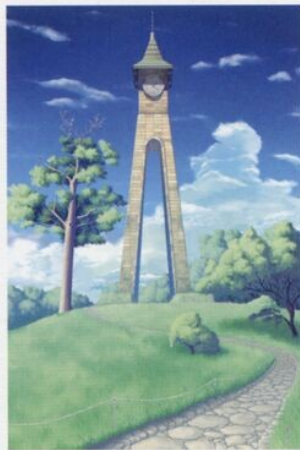
## 香泉商店街

駅前にある商店街。タイルやレンガで舗装された瀟洒な雰囲気のアーケード街で、郁や乙姫も普段の買い物に利用している。また喫茶店「睡猫（れむにゃん）」もこの一角にある。



## 町屋通り

古い時代に作られた建物がそのまま残る通り。入り口が狭く、奥に伸びる間取りはいわゆる「ウナギの寝床」と呼ばれるもの。郁と乙姫が暮らす部屋もこの通りにある。



## 香泉女子学園

長い歴史を誇る地元の名門校。その最大の特徴は、制服がいまだに袴であること（生徒たちからの評判もおおむね好評らしい）。郁や美万里たちの職場にして 乙姫たちが通う学園でもあるため、いつもにぎやかな場所である。



## こんな変わったお店も

### 睡猫（れむにゃん）

商店街に最近できたこの喫茶店は有海の父親の店で、猫人形がトレードマーク。基本的には空いており、有海ひとり切り盛りしているが、郁や乙姫たちが店を手伝うことも。有海の部屋にはたくさんの猫が居ついている。

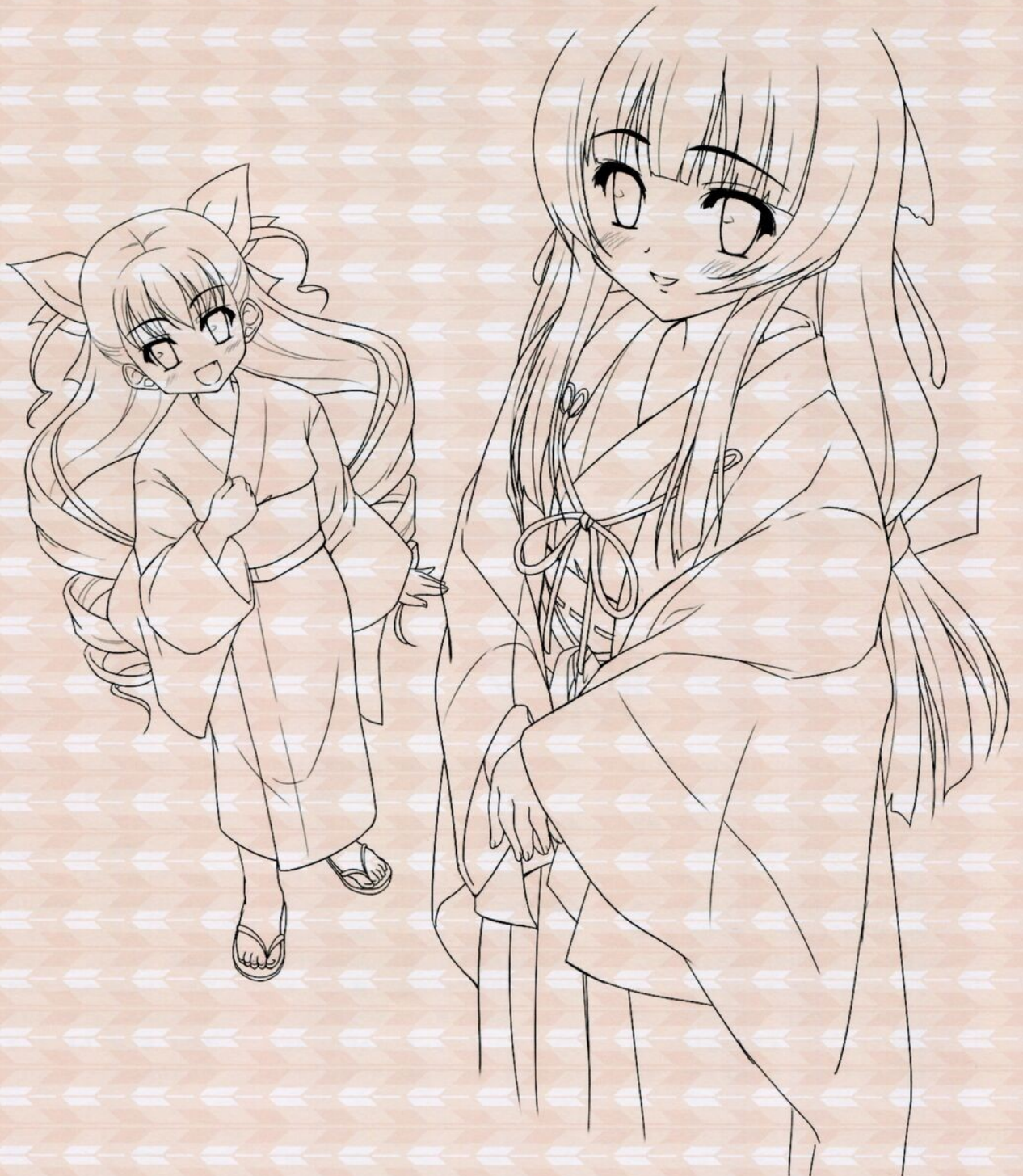


二

蝶

と

猫





1

## Story Chapter 01

# 蝶の見た夢

大宮郁は、何年かぶりに自分が育った村、刻河村に足を踏み入れた。故郷である香泉市の名門 香泉女子学園に教師として採用され、帰郷することになったのだ。郁は自分の育ての親である祖父の墓参りを済ませると、幼い頃に遊んだ思い出の場所に向かう。そして神社近くの泉を訪れた郁を待っていたのは、彼の幼なじみ、朝霧乙姫だった。ふたりは偶然の再会を喜びあう。

ところが再会の余韻も覚めやらぬうちに、ふたりは刻河村の祭の儀式「婚姻の儀」のために結婚させられることに。本来は祝言を模した儀式を行うだけなのだが 郁の叔父であり 後見

人でもある騎西範先の（娘である瑠璃歌を守りたいがための）計略によって 本物の婚姻届まで提出させられてしまう。だが 乙姫にとって郁は最愛の人であることは事実。再会したばかりでも、郁と結婚することにためらいはない。そんな乙姫の想いに郁は最初は戸惑うが ついには彼女の気持ちを受け入れ、ふたりは結ばれる。

名実共に夫婦となり、香泉市内の町屋で新婚生活を送ることになった郁と乙姫。しかし困ったことに、乙姫は香泉女子学園の生徒であった。さらに、ふたりの幼なじみである騎西瑠璃歌や鶴ヶ島有海、そして学園の人々が状況をかきま

わす。教師と生徒としてのにぎやかな昼の生活。ふたりだけで愛を育む夜の生活。そんな騒がしくも穏やかな暮らしが続いていくのだった。

しかし、「婚姻の儀」と対になる刻河村の祭の儀式「やり直しの儀」が近づくにつれて 郁の感じる時間の連なりが乱れはしめる。夢の世界に迷い込むように、さまざまな並行世界を垣間見る郁。そんな彼に、実は未来の人間である有海が この奇妙な世界の法則を語る。この世界は郁の認識によって変わる世界であり そして乙姫は、郁と結ばれることによって 消滅する存在なのだという――。



2

私にお任せくださいっ。  
お兄様のご飯は、私がご用意致しますっ。

3

1. 懐かしい記憶に想いを馳せつつ泉を訪れた郁に、とんだ災難が！ ふいに足元が崩れ、泉の中へと落ちてしまったのだ。「くすくす……大丈夫ですか？ お兄様」。そんな郁を楽しげに見つめていたのは、美しい女性に成長した乙姫だった。かつて兄妹のように育ったふたりは、こうして数年ぶりの再会を果たす。／2. 帰郷して早々、郁は刻河村のお祭り「婚姻の義」の花婿役を任される。いまだ落ち着かない様子 of 郁に対し、花婿役の乙姫は心底幸せそうな表情を浮かべる。／3. 「婚姻の儀」の翌日から、一緒に暮らすことになった郁と乙姫。「お兄様のために、いっぱいいっぱい練習したんですから」という乙姫は、その言葉を裏付けるように、テキパキと食事の支度を進めていく。そんな彼女の姿を眺めながら、傍に愛する家族がいる嬉しさを噛み締める郁だった。





2



1



なんでみんなして  
飯を食ってるんだ!!  
しかも鶴ヶ島までっ!



3



4





1. 家庭の味に飢えていた郁にとって 乙姫の手料理は感動もの。温かく美味しいご飯を、郁はしみじみと味わう。／2. 郁の家を訪れたついでに、ちゃっかり食卓を囲む瑠璃歌と有海。表向きは微笑ましい光景だが、「やり直しの儀」を巡る微妙な女の攻防に、頭を痛める郁なのだ。／3. 郁の歓迎会……のはずが、結局参加したのは3人だけ。花蝶&美万里の酒乱ぶりを知る同僚教師たちは、何かと理由をつけ逃げ出してしまったのだ。／4. 郁を飲みこ誘い、美万里の複雑な胸中について話す花蝶。なんだかんだ言いつつも、妹思いの優しい姉なのである。／5. 乙姫に対抗して 香泉女子学園に転入してきた瑠璃歌。「乙姫ちゃん！ 正妻の座は明け渡して貰うからねっ!」。彼女の爆弾発言に、クラスは騒然!／6. まるで別人のように変身を遂げた美万里。さらに「やり直しの儀」の花嫁役にも立候補するが!?





1



2

3

1. どちらが郁とお昼を食べるかで、一步も譲らない美万里と乙姫。美万里姉さん、大人げないです……。／2. 状況は似ているのに、なぜか乙姫だけがない不思議な世界に迷い込んだ郁。そこで彼は、有海から驚くべき話を聞かされる。／3. 不思議な世界から戻り目を開けると、乙姫が手を握ってくれていた。その姿を見つめるうち、かつて同じように手を握り、涙を流す乙姫を見たことがあるような、奇妙な感覚に郁はとらわれる。／4. 乙姫との「やり直しの儀」は滞りなく終わったものの、祭りの直後に異変が起こる。郁の周りから、乙姫の存在だけがすっぱり消え去っていたのだ。ただひとり乙姫のことを思い出した郁だったが、もうその時は近づいていた。やがて腕の中で姿を消してしまった愛する人を想いながら、郁は決意する。何度でも乙姫に会いに行こうと。今度こそ、彼女と離れ離れにならないために――。





私は夢の中にいる蝶。だから、新しい朝が来ればまた、蛹に戻ってしまおう……

Story Chapter 02

# 箱の中の猫

有海の予言どおり「やり直しの儀」が済むと乙姫は消えてしまった。もちろん郁にとってそれは受け入れられることではない。乙姫という存在が消滅せずに済む可能性はないのだろうか？

時間の「やり直し」を望んだ郁は、そのとき自分がすでに何度かこの「やり直し」を続けていることに気がつく――。

そして郁は、以前とは異なる可能性を孕んだ世界に現れる。見知らぬ人々もどこか様子が違う。「やり直し」を望んだ郁も、すでにそれを望んだことを忘れていた。だがそれでも、彼は確かに自分が望む世界に近づいていた。

有海の助けを借りながら、郁はさまざまな可能性の世界を旅する。しかし、そのうちに有海の実体は不安定なものになり、ついには消滅してしまう。それは運命に干渉したことにより未来が変わり、有海が存在できなくなったためだった。導き手である有海が消え、さらに自分の記憶まで変容し、「やり直し」の目的すら忘れかけてしまう郁。だがその変化こそが、彼が運命を変えつつある証でもあった。

そもそも乙姫とは、本来この時代に存在している少女ではなかった。郁の遠い先祖の娘であり、幼いうちに死んだ女の子。この星の過去、

現在、未来、すべての情報を持つ記憶体に残っていた彼女は、幼かった頃の郁に認識されたことで、この時代に存在できるようになった。しかし、彼女が「やり直しの儀」以後も存在し続けるためには、それだけでは足りなかったのだ。

そんな彼女を郁のいる世界に繋ぎとめたのは、やはり「認識」だった。さまざまな並行世界にいる郁たちと、その周囲の人々の想い。それら無数の認識が、ついに彼女の存在を確固としたものに変え、実体化させる。「やり直し」はついに終わり、郁と乙姫の結婚はすべての世界の、無数の存在に祝福されるのだった。



1

君は、お客様かな？  
それとも、  
アルバイト希望かな？

3



1. 教員として採用されたものの、まずは見習いとして先輩教師たちの授業を見て勉強することになった郁。改めて美万里の授業を聞いた郁は、その分かりやすい教え方に感心する。／2. 郁の気を惹こうと、毎朝あの手この手でモーションをかけてくる乙姫……だったが、この日は先客が！ いつの間にか布団に潜り込んでいた瑠璃歌を見て、郁もびっくり。朝一番のバスで来たまではよかったが、眠気に耐え切れず、郁の布団で二度寝してしまったらしい。その様子を見た乙姫は大激怒！  
3. 登校中、なにやら猫に話しかけている有海と遭遇。「うん、アルバイトに採用!」。果たして本気なのか、冗談なのか……その真偽はともあれ、猫を見かけると放っておけない性格らしく、有海の部屋はアルバイトとして雇った(?)猫とお客として喫茶店にやって来た(?)猫でいっぱい。

2





1



この際だから  
乙姫ちゃんに  
思い知らせてあげるよ!

2

1. 「婚姻の儀」のリハーサルに臨むため、電車に乗って刻河村へ向かう郁と乙姫。「お兄様。チャンスですよ、チャンス!」。ふたりの関係を進展させようと目論む乙姫は、郁をけしかけろ。が、あえなく撃沈。乙姫の誘惑を一蹴しつつ、今はまだ妹として大切にしよう心に誓う郁であった。／2. 並行世界のひとつ、瑠璃歌と「婚姻の儀」を行った世界での出来事。乙姫をお邪魔虫扱いする瑠璃歌に対し、家事全般まるでダメなことを揶揄する乙姫。対抗意識を燃やした瑠璃歌は、乙姫に無謀な勝負を挑むが……。／3. もしかして別の時間にいるのではと不安を覚えた郁は、有海に確かめてみよう校舎裏に連れ出す。が、そこは有海が普段猫と戯れる場所だった。最近仲良くなったというメタボ猫「ぬーたん」をいじりながら、郁の話の聞く有海。緊張感まるでなし。







1

ああ、ごめんなさいいい! (瑠璃歌)  
きゃあっ!! なっ、なに覗き込んでるんですか、お客様!?

2





3



1. 猫のために注文したマタタビを誤って吸い込んでしまった有海。「ん〜ふふふ。なんか良い気持ちなのかニャ。うん、いい気持ちかもしれないニャ」。なんと周りの猫に混ざってゴロゴロし始めてしまう。有海にのしかられ、動くに動けない郁。そこへ、こっそり様子をうかがっていた乙姫&瑠璃歌が乱入してきて大騒動に！ / 2. またまた瑠璃歌と「婚姻の儀」を行った世界。乙姫が有海の店を手伝っていることを知り、瑠璃歌も手伝いを申し出るが……。気ばかり焦ってワタワタ慌ててばかりの瑠璃歌。ついにはバランスを崩した拍子に、派手に料理や飲み物をぶちまけてしまう！ / 3. 子供の頃から、よくある夢を見ていた瑠璃歌。それは、瑠璃歌そっくりの“お瑠璃”と乙姫そっくりの“いつき”そして神社の宮司が織り成す悲恋の物語。兄様と慕う宮司と会えるのを楽しみに、毎日お参りを欠かさないお瑠璃は、ある日、大好きな兄様と見慣れない女性が仲睦まじく話している場面に遭遇する。その女性こそ、村では龍神様が違わずと伝えられている天女様であった。 / 4. お瑠璃が何もできないまま時間は過ぎ 宮司はひとりの女性と祝言を挙げる。相手は隣村に住む宮司の家系の人間らしいが、お瑠璃には天女様である“いつき”にしか見えなかった。

4





1

1. あえて郁の心を揺さぶり、彼を別の世界に転移させたことを後悔する瑠璃歌。時の観測者に頼めば、郁と再会できるかもしれない——。そう考えた彼女は泉に足を踏み入れる。そして 過去の世界の宮司と重なったまま泉に身を投げた郁は、そんな瑠璃歌に引き寄せられたかのように、元の時代に戻ってきた。／2. いつきの中にいた乙姫は、宮司と重なっていた郁の意識に触れ、目覚めていた。そしていつきと関わったことが、宮司や郁に強い力が備わった理由だった。／3. 郁と瑠璃歌が「婚姻の儀」を行う予定の世界。瑠璃歌は郁が好きだからこそ、彼が乙姫を選んだとしても仕方ないと思っていた。彼女の手から婚姻届が離れ、水面に流れていく。／4. 仮病を使った瑠璃歌の代わりに、「婚姻の儀」の花嫁役をつとめた乙姫。郁と結ばれるという乙姫の願いは成就し、その存在は消滅してしまう。



2



3



瑠璃歌ちゃん。  
お兄様のこと、  
お願いしますね？



4



1

今日から乙姫は、お兄様の妹です。  
ですから、よろしくお願ひしますね。

2





3



1. 郁と初めて出会ったころの乙姫。今となっては多少腹黒いところもあるが、当時はいたって無邪気で、ころころと笑う愛らしい少女だった。／2. 郁が刻河村から出ていく日。乙姫は郁の許婚として ずっと郁を待っていると誓った。そして郁もまた、いつか彼女を嫁に貰うと約束していたのだった。／3. 幼い頃の郁が、夢の中で認識した女の子。それが乙姫の元となった存在（観測者の中に残る意識）だった。郁はその幼い乙姫の意識に会い、郁と結婚するという願いが成就しても、彼女が消えてしまわないよう説得する。しかしその行動が未来を変えることになり、有海が存在する未来と郁の存在する現在は切り離され、有海は消滅してしまう。／4. 郁と瑠璃歌が「婚姻の儀」を行う世界。郁が瑠璃歌への気持ちを伝えたことで、彼女は乙姫へのコンプレックスを乗り越え、迷わず結婚することができた。



4





1

1. 学生時代から郁と美万里が付き合っていた世界。別の世界から飛んできた郁の意識は最初のうちは混乱するも、次第にこちらの世界での状態に合わせて変容していく。それがこの世界でのルールだった。／2. 郁は美万里に結婚を申し込む。そして彼女が大切に思うものすべても同時に受け止めることを伝えた。ふたりは静かに唇を合わせてゆっくりとキスを交わし、互いの存在を確かめあった。／3. 「たまには良いじゃないのよお、貸してくれてもおり」 そういつて笑う花蝶に、口を尖らせて反論する美万里。美万里と結婚したはずなのに、なぜか花蝶もしきりと絡んでくるようになった。もちろん乙姫もそんなふたりを放っておくはずがなく……。／4. 郁と乙姫が結ばれる世界。刻河村の露天風呂で、郁は好きな人がいることを美万里に伝える。ふたりは元どおり、姉と弟の関係に戻ることができた。

2





3

郁くんは私のものなんですからね〜♥  
 たとえお姉ちゃんにだって、  
 貸してあげませんから



4

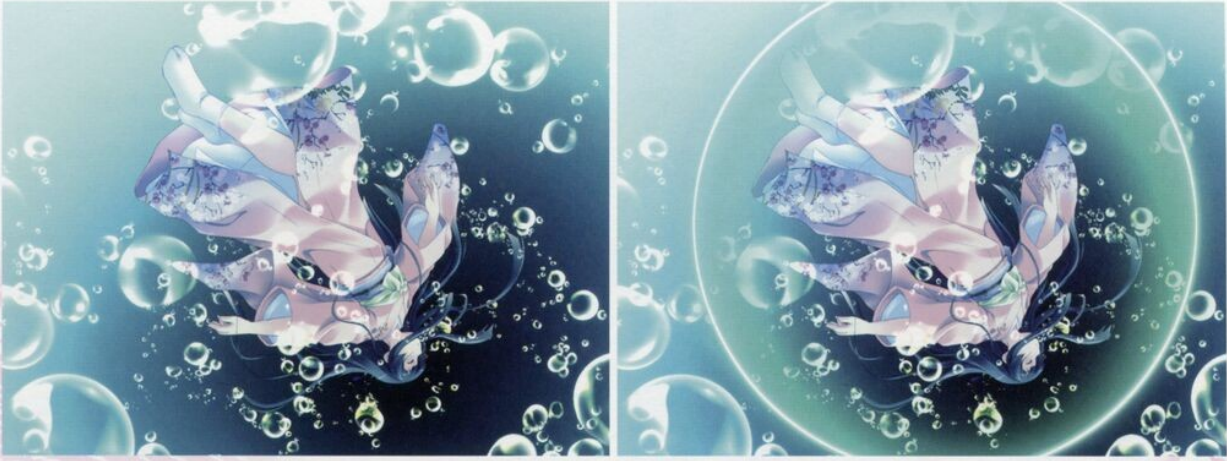


1

1. 乙姫が存在することで誰かが不幸になるとすれば、乙姫は存在し続けようとしないうらう。であれば、今は枝分かれしてしまった未来にいる有海や、未来の郁も救われねばならない。郁は死を覚悟しつつ、有海の記憶の中の未来へと飛ぶ。／2. 幼い有海と、未来の自分を救った郁は、有海の喫茶店——未来の自分が作る店に現れた。郁が危険をかえりみずに行動したこと。そして自分の運命が変わったこと。さまざまな出来事に感極まった有海は、郁の胸に飛び込む。そして彼女は、別れる前に思い出が欲しいと言った。彼女もまた、郁のことを好きになっていたのだ。／3. 気がつくとも郁は、時空の中を漂っていた。もはや全ての障害は解決したはずだった。彼は望む。乙姫と共に暮らせる未来を。そしてふたりの周囲の人々や、並行世界の人々もまた、郁と乙姫の幸せな未来を望んでいた！

2





乙姫ちゃんのいない世界なんて、意味がないんだ。  
だから……乙姫ちゃん……！



お、お兄様は  
私のお兄様なんですっ。  
私がお嫁さん  
なんですからっ！

1. 観測者の元へ還ろうとしていた乙姫を連れて ふたりが結ばれる世界に戻ってきた郁。「私はずっとお兄様の側にいます。だって私はお兄様の妹。そしてお兄様のお嫁さんですから……」 そう言う乙姫に、郁は優しく微笑みかける。そしてこの世界では初めて ふたりは“恋人のキス”を交わした。気がつけば周囲には、温かな人の輪ができていた――。

1





裸だったら、私のだけ見てください！ (乙姫)

乙姫ちゃん、それ怒るところ違うから…… (瑠璃歌)

別に私は見られても良いけど。パパだし…… (有海)

*Story Chapter 03*

## 夢のつづき

郁と乙姫が結ばれる世界での物語は、ひとまず終わりを迎えた。しかし、それ以外の世界では何が起こっていたのか——？ 郁は意識を並行世界に飛ばし、それらを垣間見る。

並行世界においては、乙姫は郁の妹として存在し続けていた。そして郁の隣には、別の女性が伴侶として寄り添っているのだった。

有海の思いを受け入れてしまった世界では、

有海と乙姫との泥沼の三角関係の中で 肉欲に溺れる日々が続いていた。瑠璃歌と結ばれた世界では、郁は瑠璃歌の拙い家事に翻弄されながらも、彼女の助手として研究を支えていた。美万里を選んだ世界では、彼女といまだ郁への想いを断ち切れていない乙姫との間で 小競り合いが続いていた。また何かの冗談か？)、花蝶と結ばれてしまう世界まであるのだった。

しかし並行世界の郁もまた、乙姫と結ばれた世界の彼と変わらない存在だった。彼らもあちこちの時間を飛び、大切な存在たちの中から、愛すべき相手を選んだのである。

そして最後に、郁の意識は自らが愛する存在のいる世界へ、乙姫のいる場所へと戻ってくる。だが幸か不幸か、乙姫たちは露天風呂で入浴を楽しんでいるところだった——！



✿background Graphics

山村で過ごす癒しのひと時

# 刻河村を訪ねて

『きすこい』のもうひとつの重要な舞台、刻河村。自然豊かなこの村は、実はこの星のすべての時間と可能性を知る存在「観測者」にアクセスしやすい場所でもある。

✿刻河神社

村にあるただひとつの神社。郁の祖父が神主を務めていたが、その祖父が亡くなって以来、神主は不在のまま。郁が刻河村に住んでいたころの家は、この神社の裏手にある。幼少期の郁や乙姫、瑠璃歌は、この境内でよく遊んでいた。



✿名もなき湖

刻河神社の裏手の山にある、池と呼ぶには大きく、湖と呼ぶには小ぶりな湖。幼かった郁たちがよく遊んでいた場所であり、帰郷した郁と乙姫が再会を果たした場所。



✿騎西邸

香泉市の市長であり、刻河村の村長代理である騎西範先氏の住む家。氏はその勤惰しいカウボーイ風の扮装で、地元の名物おじさんとしても親しまれている。



✿刻河温泉

刻河村に古くから伝わる由緒正しい温泉。万病に効き、美容にも効果があると言われている。それほど規模が大きくないため、もっぱら地元の人たちの憩いの場所となっている。



✿古くから村に伝わる秘祭

## 刻河祭

刻河神社で毎年9月に行われる刻河祭。普段の年は日本のどこにでもあがる普通のお祭だが、4年に一度、村人たちが集まって「婚姻の儀」と「やり直しの儀」という特別な祭事が行われる。神主の一族から花婿役と花嫁役を選んで祝言を行い、村の繁栄を神に報告するのだ。これは『きすこい』の物語で描かれる「やり直し」の始点と終点でもあり、その期間、郁は「観測者」の強い影響を受け、意識の時空間転移が可能となる。



祭のメインとなるのは「婚姻の儀」と「やり直しの儀」。祝言を模した儀式を行うことで、五穀豊穡などを願う。

「やり直しの儀」のあとは、松明を持った村人が行列を作る。駆け落ちした男女を探す山狩りが原型という説も。

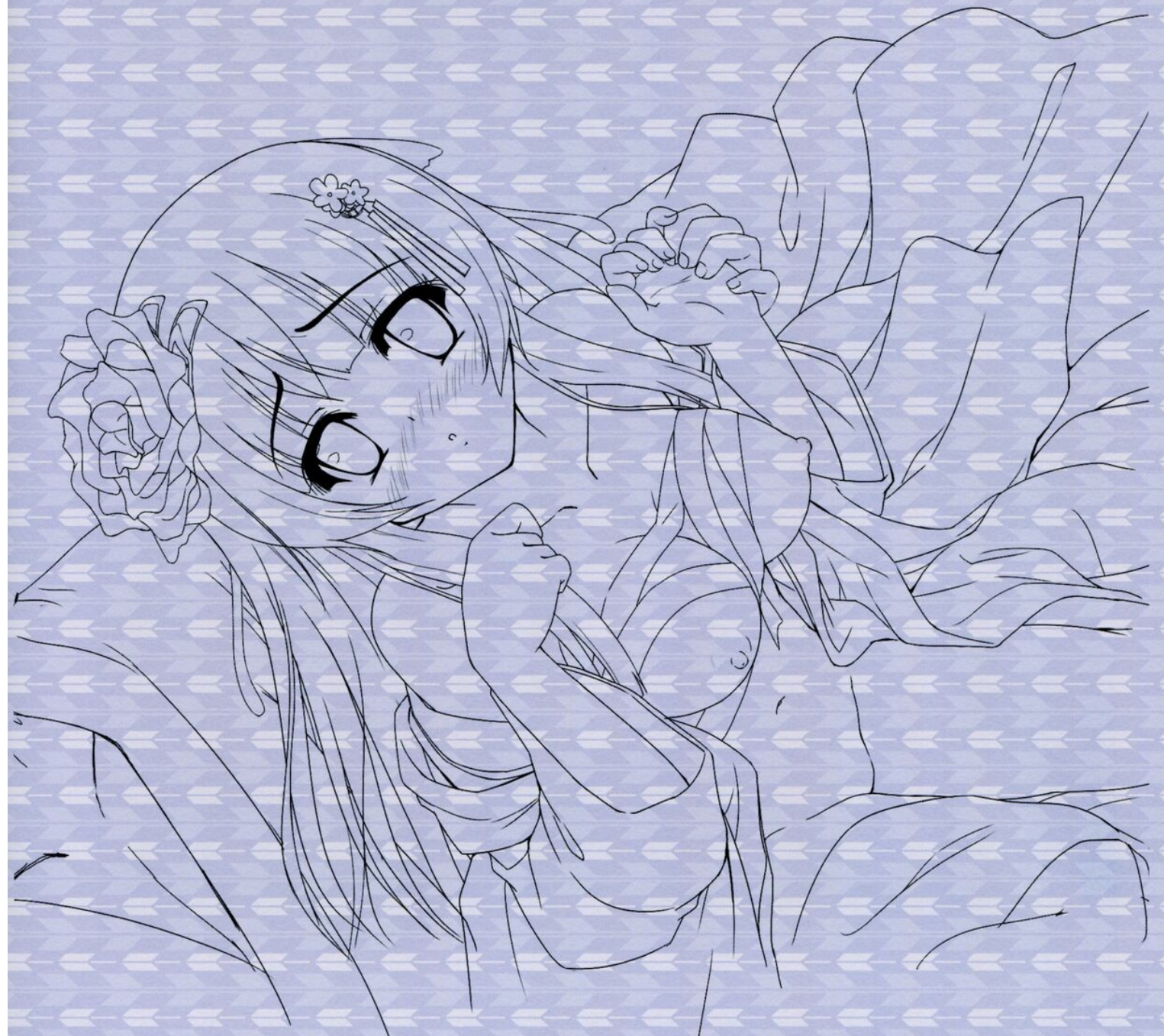


「やり直しの儀」の夜には、村の上空にオーロラのようなものが見えることも。その幻想的な光景の中、儀式はクライマックスを迎える。

三

逢

瀬



# 朝霧乙姫

*Itsuki Asagiri*

祖父のもとで一緒に育った妹のような存在。子供の頃交わした約束を信じ、ひとり家に残って郁の帰りを待っていた愛すべき少女。最初は成り行きから始まった結婚生活だったが、ともに時間を過ごすうち、家族として、女性として、乙姫は郁の中で欠くことのできない大きな存在となっていく。

## Situation 01

### 初めて迎えたふたりきりの夜

「婚姻の儀」を終えた郁と乙姫は、昔ともに暮らした祖父の家で一晩過ごすことに。長年郁を待ち続けてきた乙姫の一途で純粋な想いを告白され、胸を打たれた郁。大切な存在である彼女の気持ちを、ひとりの男として受け止めようと心に決める。素直な心の昂りに身を任せ、ふたりは身も心もひとつに溶け合うのだった。

あつ、お兄様の指、  
とつてもエッチです。  
そんな風に……触ったら  
……ああつ！





ずっとずっと、恋して……  
逢える日を夢見ていたんです。  
それに、こうして  
結ばれる日を……

「お兄様に、女にして欲しいんです……ダメ、ですか?」。都の愛撫で一度絶頂を迎えたものの、乙姫は愛する人と一緒に達したいと都を求める。いまだ誰も受け入れたことのない乙姫のそこへ、ゆっくりペニスを突き入れていく都。初めての痛みを耐えながら、乙姫は都とひとつに繋がった喜びで満たされていた。



お兄様の指で  
いじられる度に、  
胸がジンジンします。  
頭が痺れるみたい……  
ああっ！ あっ！



✿ Situation 02

一途な乙姫が愛しくて

歓迎会で帰宅が遅くなった郁を、乙姫はずっと家の前で待っていてくれた。郁のことを信じ、全力で愛してくれる少女。こんなにも自分は想われているのだと実感した郁は、思わず乙姫の身体を抱きしめていた。そして愛を確かめ合う。





こんな恥ずかしい格好をさせられて、  
お兄様に全部見られてしまって……  
なのに、感じちゃってるんです。

「乙姫ちゃんのエッチな姿をもっと見たい」。そんな郁のお願いに、顔を真っ赤にしつつも応える乙姫。郁が求めるまま、お尻を突き上げ 敏感な部分を自らの指で広げて見せる。そこは、すでに蜜で潤っていた。「お兄様と一緒にイキたい」。切ない声で哀願する乙姫に、郁は己の欲望を注ぎ込む。





今日はお兄様に気持ちよくなって欲しいんです。  
教えていただけますか？



*Situation 03*

妻の役目ですから！

妻として いつ旦那様に求められても大丈夫なように……。そんな思いでお風呂にも入り、準備万端で旦那の帰りを待っていた乙姫。さらに今日は、自分が旦那に奉仕したいと言い出した。旦那の服を脱がせた乙姫は、首から鎖骨、胸、そして下腹部へと順番にキス。そして……。すでに屹立した旦那のモノを前に一瞬躊躇しながらも、胸と口を使って一生懸命愛撫していく。



お兄様……  
花嫁の乙姫を、  
愛してくださいますか……？

 Situation 04

やり直しの儀、前夜

「やり直しの儀」を翌日に控え、改めてお互いの気持ちを確認め合ったふたり。お嫁さんとして郁に抱かれたいと、花嫁衣裳に着替えて姿を現した乙姫に、郁の胸も高鳴る。さらしの中からまろび出した豊かでハリのある胸を、郁はいつも以上に愛を込めて可愛がるのだった。



「お兄様と結ばれて、こうしているのがまるで夢のよう……」。大好きな人と抱き合い、繋がっているだけで、これ以上ない幸せを感じる乙姫。郁もまた幸せを噛み締めるように、ゆっくりと彼女の中をかき混ぜる。あまりの気持ちよさに、乙姫は何度も絶頂へ達してしまう。

もっと、ぎゅってしてください。  
深く繋がって、くっついちゃうくらい……  
もっと、もっと幸せにしてください……♥



もお……  
お兄様は変態ですう。  
こんな格好……  
恥ずかしすぎますよお。

### Situation 05

#### 裸エプロンで……

ふとした好奇心から別の時間へジャンプした郁。そこは、乙姫と有海のみと関係を持つ、とんでもない世界だった！ 有海に対抗心を燃やす乙姫は、態度で愛を示してほしいと要求すると郁は、乙姫を裸エプロン状態にしてマニアックなプレイを楽しむ。



❁ Situation 06

乙姫の実力行使!?

またしても乙姫&有海との三角関係を続ける世界へ迷い込んだ郁。ウエイテレス姿の有海と行為に及んだことを聞いた乙姫は、「実力行使」でいくと宣言。なんと乙姫までウエイテレスの制服に着替え、有海以上にいっぱいしてほしいとおねだりする。その可愛らしさに、郁の欲望も一気に沸騰。ふたりは何度も何度も激しく求め合う。

こんなエッチな乙姫でも、  
夢中になって……くれますか？  
お兄様を、独り占め、  
できますか……？



## Itsuki Ending

### いつか見た未来へ

郁の両親へ挨拶するため、ふたりで上京していた郁と乙姫。その帰り、電車で揺られながら、郁はこれからの人生に思いを馳せていた。

刻河村のお祭りがすべて終わった時点で、郁には他の世界へ跳ぶ力はなくなっていた。でも、そんな力はもう必要ないと、郁は思う。これからは、自分が決めた道を一步步づつ着実に歩いていくのだ。

そして郁は、ふといつか見た未来の光景を思い浮かべる。郁がいて、乙姫がいて、息子がいて、そして乙姫のお腹の中には女の子の赤ちゃんがいて……。もちろん女の子の名前は決まっている。そんな何の変哲もない普通の生活、でも愛する人が傍に寄り添ってしてくれるかけがえのない日々。あの未来のようでありたいと、郁は願うのだった。



頼れるパパなんですから、頑張ってください。  
 新くんの次は、私とお腹の赤ちゃんが  
 乗る予定なんですから。

# 騎 西 瑠 璃 歌

Rurika  
Kisai

郁と乙姫が結ばれる世界では、郁と最初に再会したのは乙姫だった。だがもし、乙姫より先に瑠璃歌と再会していたなら——。乙姫に強いライバル心を燃やしていた瑠璃歌が、もし郁と結ばれていたらどんな運命をたどるのか、可能性の世界を旅してみよう。

## ✿ Situation 01

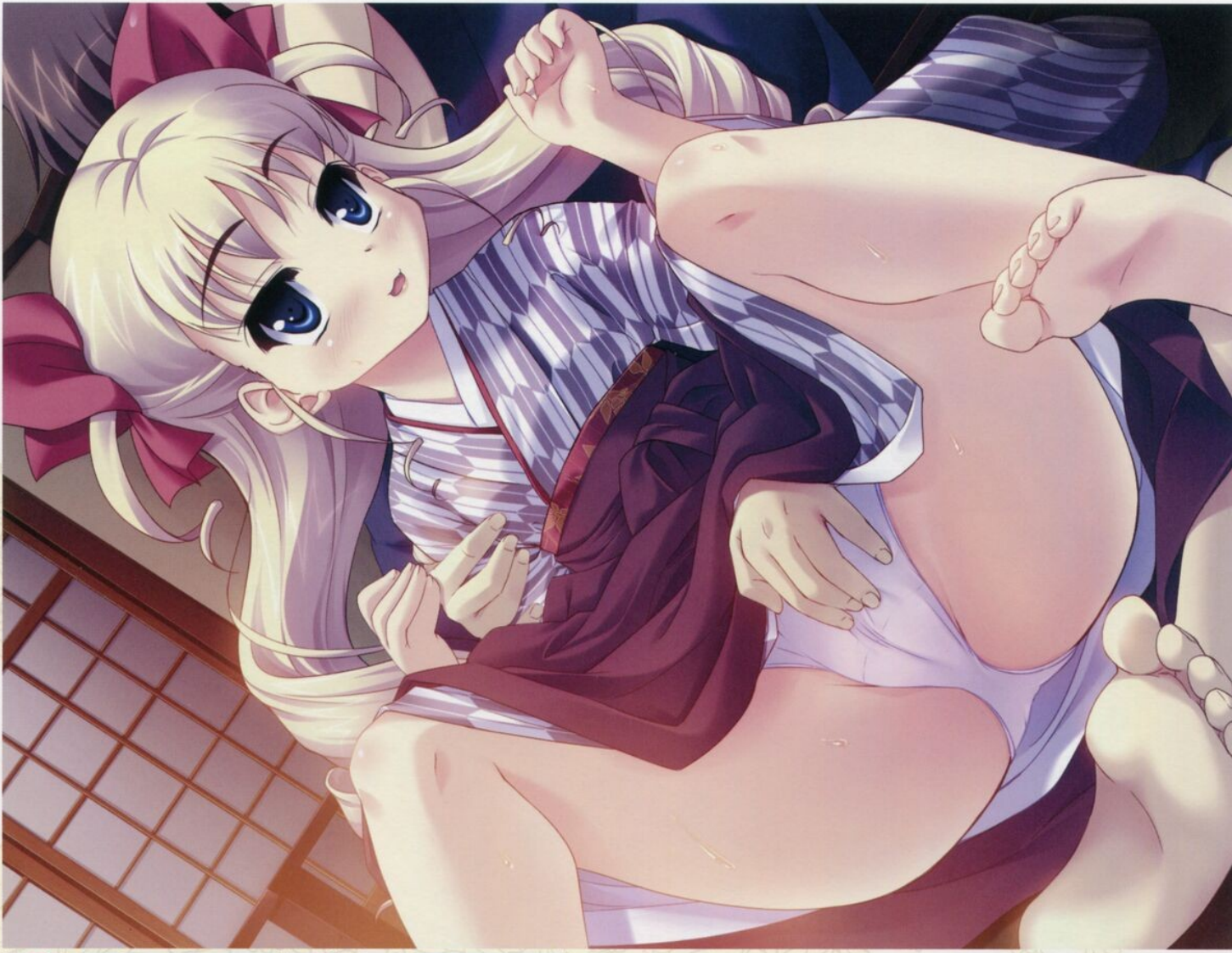
### 瑠璃歌と結ばれた時間へ

郁と瑠璃歌が結ばれる世界。瑠璃歌は郁が刻河村に戻って来るのを待ち構えていた。郁はそのまま瑠璃歌の家に連れ込まれ、彼女から愛を告白される。そしてふたりはそのまま結ばれた。乙姫に言わせれば、それは瑠璃歌の計略ということになるのだが……。まるで瑠璃歌と乙姫の立場が入れ替わったような世界だった。



ルリは、ずっとお兄ちゃまのことが好きだったんだよ……  
ずっと、お兄ちゃまのことを待ってたの。





お兄ちやまったらあ♡  
 昨日の夜だつてあんなにルリを  
 可愛がつてくれたのにい♡

郁と瑠璃歌、そして乙姫を加えた3人での生活。同じ家で乙姫も寝起きしているにも関わらず 毎晩のように肌を重ねていた郁と瑠璃歌。行為のあと、同じ布団で眠りにつくことも多かった。翌朝、それを起こしに来る乙姫の心労はいかばかりのものか……。

お兄ちゃまがエッチだから、  
コレを元気にしちゃってるんでしょ？  
だからエッチなのはお兄ちゃま。  
エッチしたいのも、お兄いちゃま。

✿ Situation 02

お風呂でだっこ

瑠璃歌は乙姫との家事勝負に負けて消沈気味。郁は彼女を励ますために一緒にお風呂に入ることにした。後ろから抱っこされて ほっこりと安らぐ瑠璃歌。しかし、今のふたりが肌を合わせたら、安らぐだけで終わるはずもない。硬くなった郁のモノがお尻に当たって瑠璃歌は戸惑うが、それでも少しずつ気持ちが高まっていく。





洗い場で泡まみれになって抱き合う郁と瑠璃歌。郁の体の上から滑り落ちないようにしながら、瑠璃歌は泡ごしに肌同士が滑る感触を楽しむ。お互いの秘所を擦り合わせるうちに、いつしか瑠璃歌は貴かれてしまう。彼女は小さな体を精一杯使い、郁を喜ばせようとする。



大好きだから、  
今日は全部ルリがしてあげるね。  
お兄ちゃまのこと、  
気持ちよくしてあげちゃうんだから……



✿ Situation C.3

妻なら当然の奉仕

旦那様に口で奉仕するのも、大切な妻の務め。そう考えた瑠璃歌は、郁のモノをゆっくりと刺激していく。郁が瑠璃歌の舌使いを褒めながら彼女のお尻や秘所を触ろうとすると、奉仕に集中できなくなるとの抗議が。そのうちに高まってきた郁は、瑠璃歌の口内や顔に大量の白濁を吐き出す。

……あのね、お兄ちゃまの精液飲みたいです……  
ご奉仕したいの。お兄ちゃま……大好きっ。



瑠璃歌は、すぐエッチになっちゃう、悪い子……  
だ、だけど、エッチなお仕置きをして欲しかったんじゃないよ？



#### ✿ Situation 04

#### 運命の日の夜

瑠璃歌が「婚姻の儀」の相手に決まっていたものの、寸前に姿を消してしまった世界。郁は夜の森で瑠璃歌を探しあて そのままお互いの気持ちを確認め合う。みんなに心配をかけたお仕置きという名目で 瑠璃歌を言葉でなぶりはじめる郁。瑠璃歌は普段にはない、奇妙な気持ちの高ぶりを感じるのだった。



十分なお仕置きが済んだということで、今度は郁に可愛がってもらえることになった瑠璃歌。いつもよりも興奮している分、潤滑液も大量に溢れ出してしまう、郁のモノをすんなり受け入れる。瑠璃歌の口からは、普段ならありえない大胆な言葉も次々に飛び出し、ふたりは激しく動きながらほぼ同時に果てる。

して……激しくして……いっぱい、  
お兄ちゃまので……ルリのこと、可愛がって





 *Situation 05*

帰る世界を間違えた

乙姫と結ばれたあと、他の世界を垣間見た郁。そこでは、瑠璃歌と新婚生活を送る自分の姿があった。料理を失敗した瑠璃歌を慰めるうちに、なぜかエッチをする流れになってしまうが、郁としてもまんざらではない。食事制限と運動。これは新手的ダイエットかも(?)。

あうっ、あっ！ お兄ちゃまのルリの中でおっきくなって……  
んっ、中に届いちゃう。



✿ Situation 06

お兄ちゃま分を補給する

有海の話によれば、瑠璃歌がその天才性を発揮するには、郁と離れているときの寂しさが必要だという。彼女の才能によって救われる世界も多らしい。というわけで、「お兄ちゃま断ち」が敢行されるが……結局3日ともたず お兄ちゃま成分を補給する瑠璃歌だった。

この体勢って、赤ちゃんが  
オシッコさせられてるみたいで……恥ずかしいよお。



いろいろなものが変わったけど、  
それだけは変わってない……  
ずっと昔のまま……昔からずっと、  
好きだった……だからこれからも、  
ずっと好きで居続けるからね。

### ✿ Rurika Ending

## ひまわりのように

結局、ふたりは無理に距離を置くことをやめた。そして欲望のまま自堕落に過ごすのではなく、互いが互いの行動や存在を尊重するという、ごく当たり前の恋人同士の関係を築く。すると瑠璃歌の天才性は再び発揮されるようになった。有海の説明とは食い違っていたが、これも世界が持っていた無限の可能性のひとつなのだろう。

瑠璃歌のお気に入りの場所。それは自分の家の裏手にあるひまわり畑。彼女によれば、ひまわりの側にいるだけで、気持ちが明るくなり、研究のインスピレーションが沸いてくるという。郁もまた、彼女にとってひまわりのような存在かもしれない。いつまでも、いつまでもこの子の側に居続けてあげたい。そんな思いをより強くする郁であった。

# 鶴ヶ島有海

Arumi Tsurugashima

繰り返される悲劇を何とか止めたいと願っていた有海。最初は「パパ」を救いたいという一心から始まった彼女の旅。しかし、さまざまな世界で郁の優しさに触れるうち、しだいに別の感情も芽生えていた。郁が渡り歩いた別の世界には、そんな有海と特別な関係になっている時間もあった――。



## Situation 01

### 最後の思い出に

交通事故で命を落とすはずの自分自身を救い、幼い有海の運命をも変えた郁。そしてさらに時間を跳び、たどり着いたのは、もうすぐ消えてしまうという「有海の世界」だった。有海にとって郁はパパであると同時に、一番身近で愛しいと思える男性でもある。「ずっと好きだった……」そう告白する有海。郁はこの時間では全力で彼女の気持ちに応えようと決意する。



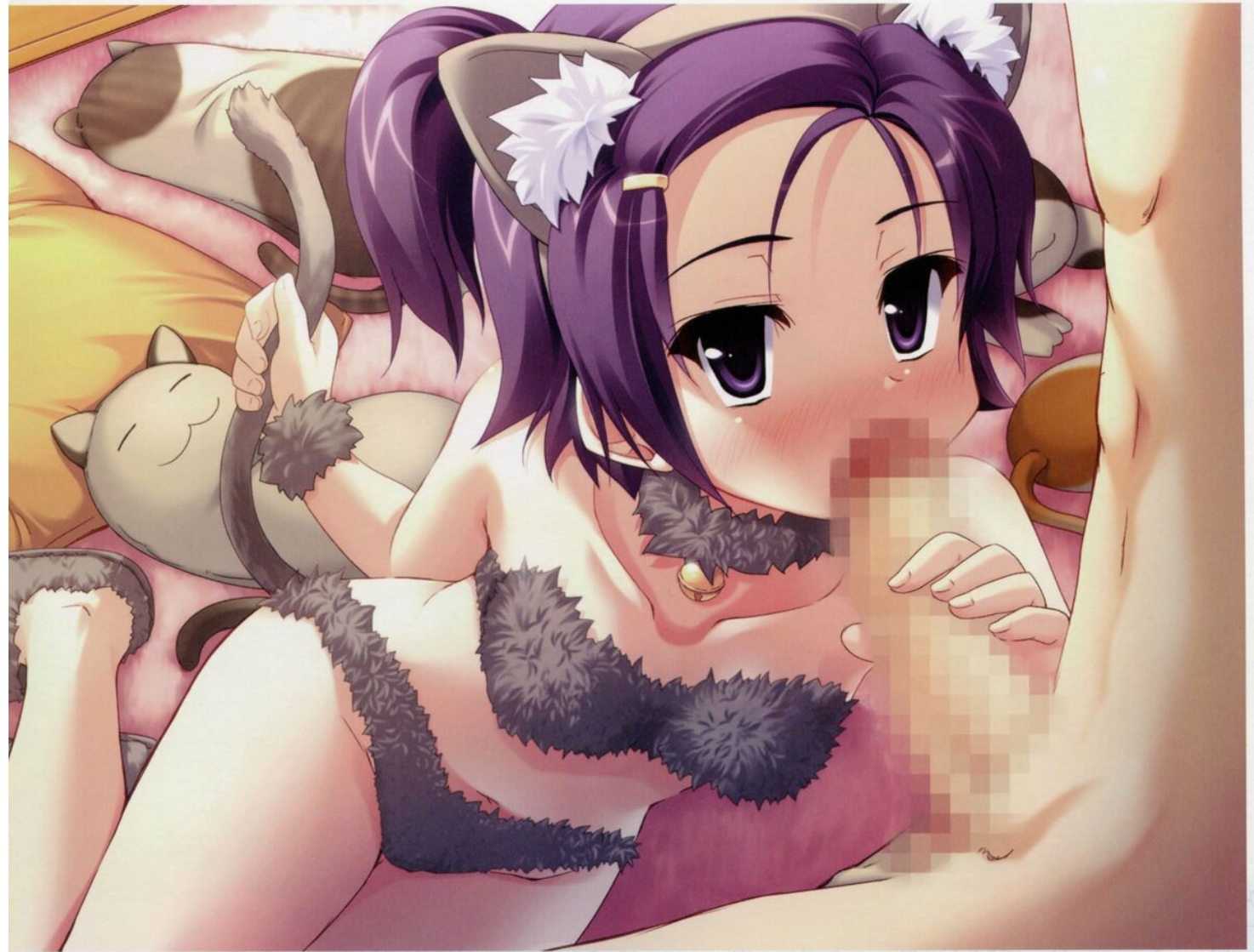
……あは。先生と……キス、しちゃった……  
初めてのキス、だよ





「どうしよう。こんなの初めて……もっとくっつきたい……もっと、先生の近くに寄りたいたい……」。有海をベッドに横たえた都は、彼女の奥までモノを導入させていく。破瓜の痛みに必死で耐えながらも、大好きな人と結ばれるのだから心は気持ちいいのだと、有海は健気に都を受け入れる。

私のこと、いっぱい感じて……  
私のこと、先生のものにして  
……せんせえ……



身体だけじゃないよ。心の奥まで、  
 パパのことが好きだから……私の全部は、パパのものなの。



✿ Situation 02

イケナイ三角関係!?

乙姫は世界に固定され、無事「やり直しの儀」も終えた。しかし好奇心にかられた郁は、最後の時空間転移にトライしてみるが……。跳んだ先では、なんと有海とエッチの真っ最中! この世界では乙姫と結ばれつつも、有海との関係も進展してしまっているらしい。お気に入りの下着(?)を身につけた有海は郁のモノを口に含むと、舌を駆使してご奉仕に精を出す。





「あは。パパに、だっこされちゃった。なんだか嬉しいかも。うん、嬉しい」。有海のご奉仕で我慢できなくなった郁は、彼女を上に乗せると一気に奥まで進入する。すでにトロトロになっていた有海のそこは、抵抗なく郁のモノを根元までくわえこんだ。やがて自ら腰を振り始めた有海。郁もその動きに合わせてるように、下から力いっぱい突き上げる。

「パパがね。奥までずんって入ってきて……  
お腹の奥を、ゴツン、ゴツンってするの、  
なんか嬉しい……」





*Situation 0.3*

イケナイ三角関係!? 再び

時間を跳ぶと、またしても有海とコトの最中。この世界でも乙姫、有海との三角関係になっているらしい。「パパ、好き。大好き……だからお願い。もう、これで最後にするから……」。有海の切なお願いに、選択を迫られる郁。有海のこと大切だからこそ 彼が下した決断とは――。

ねえ、先生……私にもっと先生のこと教えて。  
もっと大人なキスも、大人なエッチも……





良いんだよね。この世界では、パパの恋人になっても……  
好きって言ってもいいんだよね……？

 Situation 04

有海がお嫁さん

有海を大事に思う郁は、中途半端な三角関係を断ち切った。そして 元の世界へ戻ろうと時間を跳ぶが、またもや別の世界へ迷い込んでしまう。そこは「有海が奥さんだった場合」の世界。いろいろな時間で他の女性と結ばれる郁を何度も見つけて 実はずっとヤキモチを妬いていた有海は、この世界では思い切りラブラブしたいと可愛くおねだりする。





この世界の有海は初めてだったらいい。郁が奥まで挿入すると、破瓜の血がシーツを汚した。しかし、他の世界での記憶がある分、処女にも関わらず感じやすくなっている様子。幸せそうに甘い声を漏らす有海に対し、夫婦として過ごせる限られた時間、精一杯愛を注ぎ込む郁なのだった。

どうしよう、どうしてかな……  
パパと結ばれて、嬉しいからかなあ……  
気持ちいい、気持ちいいよ、パパあ……



## Arumi Ending

### 家族としての幸せ

「やり直し」の末、晴れて乙姫と結ばれてから数年。今では学園から正式な許可をもらって 郁は毎日「睡猫」の手伝いに来ていた。喫茶店の仕事にもだいぶ慣れ、その手つきはもう立派なマスターのよう。時折 郁を誘惑しようと、有海が色仕掛け(?) をしてくるものの、郁の心がぐらつくことはない。乙姫一筋、浮気はしないと心に固く誓っていた。

「あっ、乙姫… じゃなくてママ お帰りなさいっ」

郁への気持ちがまだ胸に残る有海だったが それでも幸せだった。大好きなパパとママ。ずっと求め続けて そしてようやく手に入れた大切な家族と一緒にいられるのだから。親子として新たなスタートを切った3人は、それぞれの想いを胸に抱き 自身が選んだ未来へと歩み出していく。



パパ……ママ。  
これからもずっと一緒にいてね。約束だよ。

# 人間美万里

Mimari Iruma

あくまで「お姉ちゃん」として郁に関わっているというスタンスを崩さず、自分でもそう思い込もうとしていた美万里。しかし彼女も心の奥底では、郁と結ばれる世界を望んでいた。郁はさまざまな世界に飛ぶことで、彼女との間にありえた出来事を体験していく。



## Situation 01

### お姉ちゃんをはじめて

学生時代付き合っていたものの、美万里と肉体関係までは至っていない世界。飲みの帰りに美万里を部屋まで送った郁は、学生時代にかわされてしまった想いを再びぶつけてみた。乙姫という強力なライバルがいる今、美万里は郁から逃げなかった。



うん、平気よ……郁くんは、優しいんだから……  
落ち着いてれば、きっと大丈夫……あっ……





いつ……入れた、だけじゃ……  
駄目でしょ？ お姉ちゃんは、  
動くとか……無理……

郁は美万里の背後からゆっくりと突き入れていく。初めての痛みに顔をゆがめる美万里。だが、それでも郁に気持ちよくなってもらうために、苦痛をこらえ続けた。次第に高まってきた郁に、どこに出すかを聞かれた美万里は、そのまま中に出すように懇願する。





そんなふうに……  
あっ、くすぐるみたいに触られてたら……  
切なくなっちゃうよ……



✿ Situation 02

反撃のときはきた

美万里と学生時代から親密に付き合っており、そのまま付き合い続けている世界。学生時代の地味な雰囲気ですっかり抜けた美万里は、それなりにエッチなことも覚えていた。食事中に足で股間を刺激された郁は、美万里に反撃を開始する。





腕をリボンで縛った状態で美万里を体の上に乗せた郁は、そのまま手を使わず挿入させようとする。しかしなかなか入らず 焦らされたような感覚が、互いの気分を高めていく。なんとか納まったあとは、徐々に激しく腰を動かし始めた美万里。彼女にねだられて 郁も下から突き上げる。

で、でもお……もっと、  
あっ……郁くんに、してもらいたい……  
激しくしたいのにい……んあっ……





ヤキモチはあ!!  
誰と飲んできたんだあ  
とか言わないのお!!

✿ Situation 03

酔っ払いの帰還

美万里と郁が付き合い続けている世界。花蝶と酒を飲んでベロベロになった美万里は部屋に帰ってくるなり、なぜ自分の帰りが遅くてもヤキモチを妬いたり心配したりしないのかと、理不尽なクダを巻きだす。すっかりご機嫌の美万里は、郁に「してくれ」とおねだり。





ん……ちゅっ、それくらいじゃ、お姉ちゃんに勝てないぞお？ んんんっ……



「んふふ～、優しい郁くんに、ご褒美をあげましょ～ね～」。そう言って郁のモノをその豊満な胸で挟み、舌先で舐りだした美万里。向こうから「してくれ」と言われたのに逆に「されている」、まるで狐につままれたような気持ちになる郁だが、すぐに舌の感覚に集中します。





郁くんが……もう一度、  
私のことを好きって……  
私のこと、愛してるって……  
言ってくれたら……  
なんでも、言うよ？

✿ Situation 04

心は決まった

郁が美万里を選ぶことをはっきりと決めた世界。郁の告白のあと、ふたりは自分たちの想いを確かめるように肌を重ねるのだった。足の爪先へのキスなど、郁が戯れに試してみたマニアックなプレイに、美万里は戸惑い気味。だがすぐに興奮に我を忘れていく。



## Mimari Ending

### ヴェネチアにて

「婚姻の儀」と「やり直しの儀」にまつわる不思議な事件から数年後。郁と美万里は新婚旅行でイタリアはヴェネチアを訪れていた。物思いにふけていた郁に、美万里は問いかける。「本当に良かったの？ 乙姫ちゃんじゃなくて……」と。

もちろん郁は、美万里を選んだことに後悔はなかった。むしろ、美万里

でなければ駄目だとさえ思っていた。いまだに「美万里姉さん」「郁くん」と呼び合うふたりの間に、穏やかな空気が醸し出される。

とはいえ、この新婚旅行は夫婦水入らずというわけではない。なんと乙姫まで同行してしまっているのだ。彼女は今のところ妹としての節度を守っているが、美万里とのライバル関係は当分終わりそうもない。



旅行先にイタリアを選んだのは正解だったかしら。  
郁くんもそう思わない？

# 春日部花蝶

Kachou Kasukabe

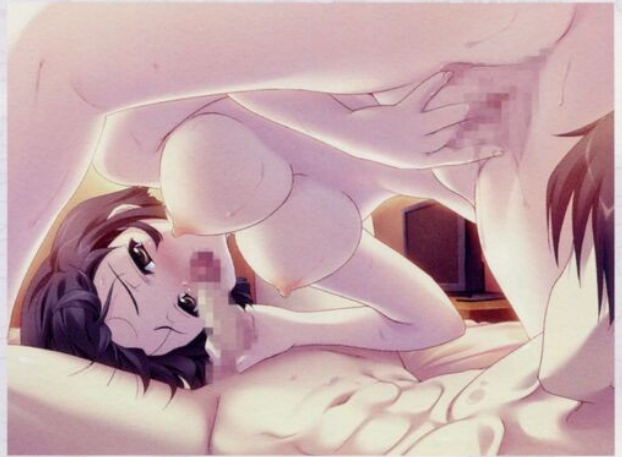
お話をかきまわすトラブルメーカーやギャグメーカーとしての役割や、戸惑う郁に状況を説明している印象が強い花蝶。しかし無限の可能性を孕む世界の中には、郁と彼女が結ばれる世界も存在していた……！ 花蝶の大人な魅力を、ぜひ余すことなく味わってほしい。

んぷつ、あむつ……  
んつ、大きくなった。  
あむつ、くす……  
可愛いいなあ。

## ✿ Situation 01

### キスは本命だけにしろ

花蝶とふたりっきりの飲み会。なにやら花蝶の様子がおかしいと思っているうちに意識を失ってしまう郁。……気がつくと、花蝶とふたり、ラブホテルの一室にいた。しかも時すでに行為中。強引に突き飛ばす気も起きず、なすがままに搾り取られてしまう。





今頃名前と呼ぶな……優しい目で見詰めるなよお……

結局、花蝶と最後までしてしまう郁。表面上はそんなそぶりを見せないが、花蝶もまた郁に惹かれている気持ちがあるようだ。アルコールで自制が効かなくなったのかもしれない。郁は花蝶を思いきり突いたあと、彼女にキスしようとする。だが「キスは本命だけにしろ」と拒まれるのだった。





お〜……我が妹ながら、いやらしい舌使いですこと (花蝶)  
怒るわよ、お姉ちゃん! (美万里)



✿ Situation02

どっちが気持ちよかった？

美万里を愛している世界……のはずだが、ちょっとした運命の悪戯で美万里と花蝶、ふたりの共有物になってしまった世界。ふたりは郁のモノを争うように舐める。彼はほどなく果ててしまうが、またすぐに新たな力がみなぎってくる。





花嫁と美万里、熟れたふたりの体を都は交互に貫いていく。感触や反応の違いをじっくりと楽しみながら、都の絶頂が近づくにつれて ふたりは最後は自分の中で果てて欲しいと要求する。果たしてどちらで出すべきか。自分の気持ちに従うならば――？

美万里はアタシが気持ちよくしてあげてるから、  
あんたはアタシのことをお願いね♪



*Hachou Ending*

## 屋上での逢瀬

「へっ……あ、アタシかっ!？」

郁に選ばれた瞬間、すっとんきょうな声をあげた花蝶。花蝶としては、美万里にヤキモチを妬かせるために郁に絡んでいたつもりだった。しかし、心の奥底には諦めきれない郁への気持ちがあることも事実。美万里や乙姫といった強力なライバルもいる。郁の気持ちが変わる前に、花蝶は彼の気持

ちを受け入れることにした。

仕事が終わったあと、ふたりが会うのはもっぱら学園の屋上だった。そこから見える景色は、花蝶にとって特別な景色。彼女の祖母がいつも見せてくれたものだった。郁と花蝶、そして花蝶のお腹の中に宿った子供。3つの命はいつまでも屋上からの景色を眺め続けた。

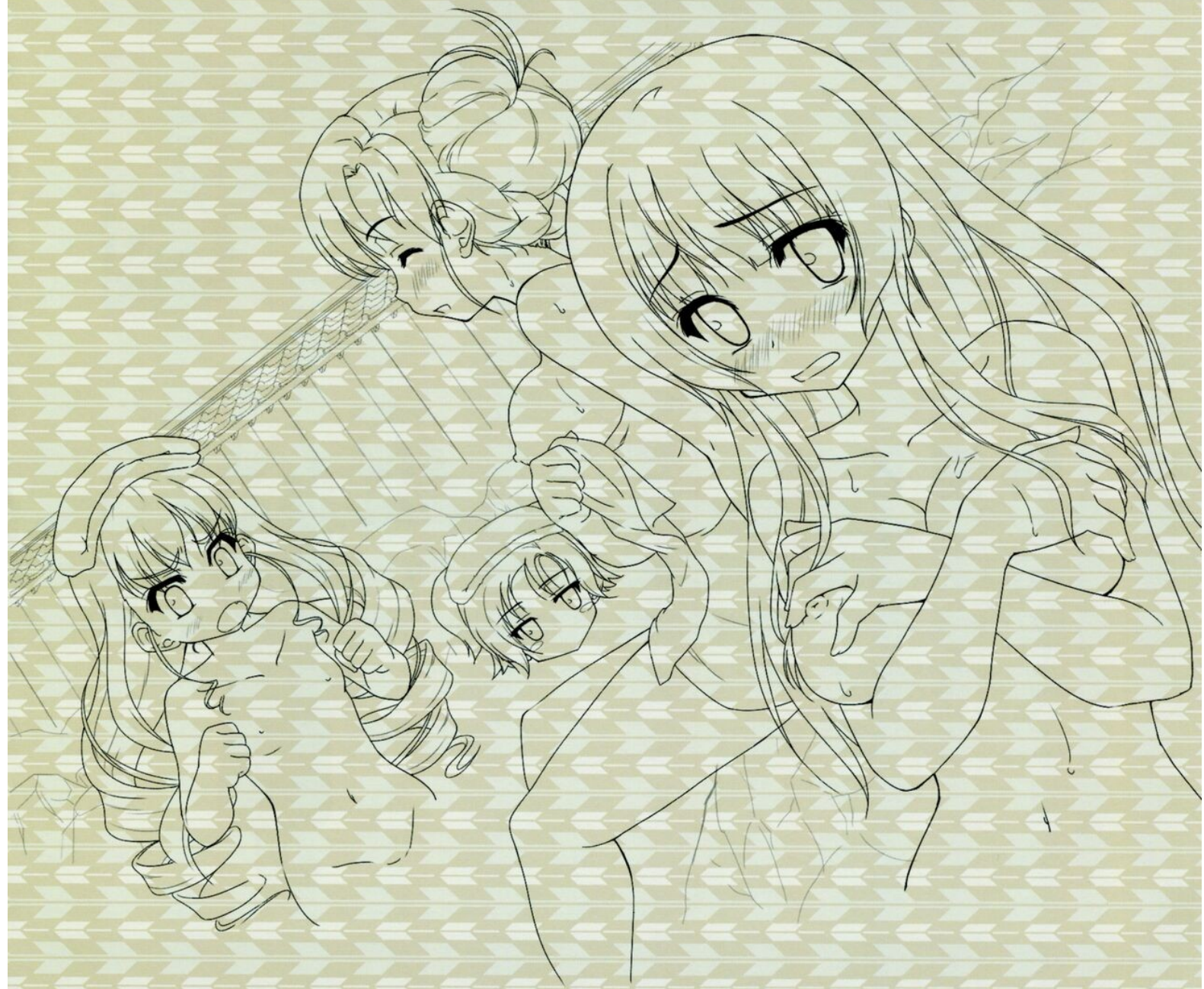


ばっか「意外」は余計だ。恋する女は誰でも乙女だぞ？  
アタシだってそういう面は持ってるっていうの。  
まあ、自分でもビックリしたけどね……

四

秘

録



# キャラクターデザイン *Character Design*

『きすこい』の物語を彩った魅力的なキャラクターたちは、どんなコンセプトでデザインされたのだろうか。キャラクターデザインを担当した唐辛子ひでゆ氏から各登場人物についてコメントを寄せていただいたので、デザイン画とともに楽しみあれ。



## 朝霧乙姫

*Comment from* 唐辛子ひでゆ

こんな新妻が欲しいなあと思いつきながら描きました。大和撫子タイプのかっちりしたイメージがあったのでヒロインで一番デザインしやすかったかもしれません。あ、でも最初に描いたのはもっとロリロリな感じだった気がします(笑)。蝶の髪飾りは以前から和風キャラ用に温めてたアイテムで 奇抜すぎてボツになるかなあと思ってたんですが デザインモチーフなんかにも上手く使ってもらえて嬉しかったです。

### *Early design*

#### 初期デザイン

開発初期に描かれた案は、和風の美人ではあるが、もっと幼い印象だった乙姫。制服に小さいボシエットを合わせた組み合わせは、最終的には瑠璃歌の衣装に採用されている。また、乙姫の私服案では、着物の帯の結び方までいろいろ提案しているあたり、唐辛子ひでゆ氏の着物へのこだわりが感じられる。





乙姫 制服  
正面  
乙姫 制服  
背面



乙姫 私服



乙姫 表情



乙姫 A服

乙姫 私服着

髪型

表情

表情



# 騎西瑠璃歌

Comment from 唐辛子ひでゆ

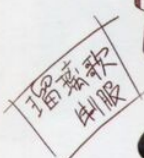
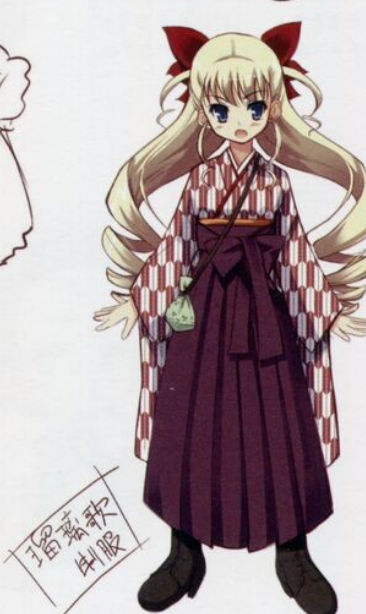
乙姫と対になる西洋風のお嬢様の設定だったので 着物キャラと並んでも可笑しくないようにと考えてました。明治頃の貴族っぽいレトロなドレスをたくさん描いた中から決まったんですが 今見ると何か不思議な服ですね (笑)。あと特徴は頭のおっきいドリルとリボンですね。乙姫の蝶が結構目を引くのでオーバーな感にしてバランスをとりました。あとは八重歯かな。でもしゅっちゅう描くの忘れるので ついてたりついてなかったり …。



Early design

初期デザイン

どの案も「生意気そうなお嬢様」というコンセプトは共通しているが、髪形が違うだけでかなり雰囲気が変わって見えるから不思議。長い髪をふんわり伸ばしたり、前髪を上げていたりすると、どことなく大人びた印象に。





# 有海

## 03 鶴ヶ島有海

Comment from 唐辛子ひでゆ

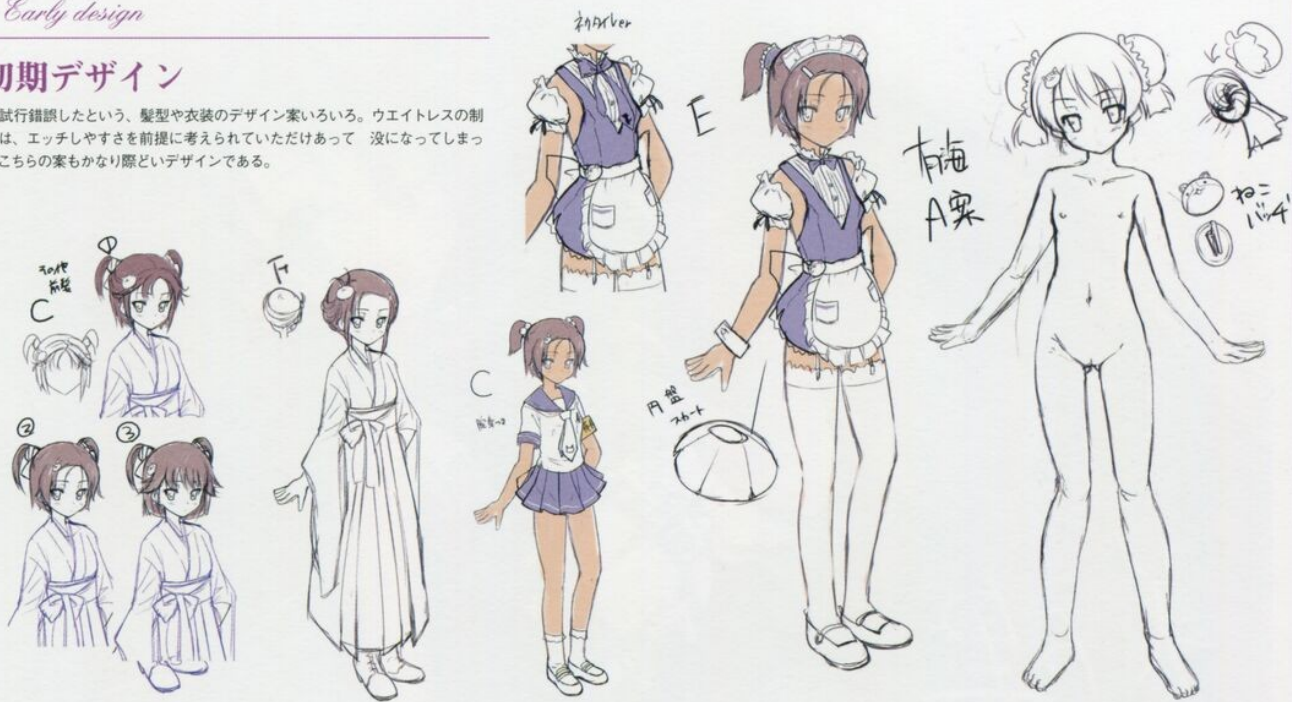
ショートヘアに猫パッチ付きの指定だったので 頭のどこに猫をつけたら自然かな……とか迷いながらデザインしました。髪型も私服も結構パターンを作った気がします。ツインテール&ビー玉は前の二人に比べて地味だということであとからくっつけたんですがチャームポイントになってますね。



Early design

初期デザイン

試行錯誤したという、髪型や衣装のデザイン案いろいろ。ウエイトレスの制服は、エッチしやすさを前提に考えられていただけあって 没になってしまったこちらの案もかなり際どいデザインである。





美万里

## 人間美万里

Comment from 唐辛子ひでゆ

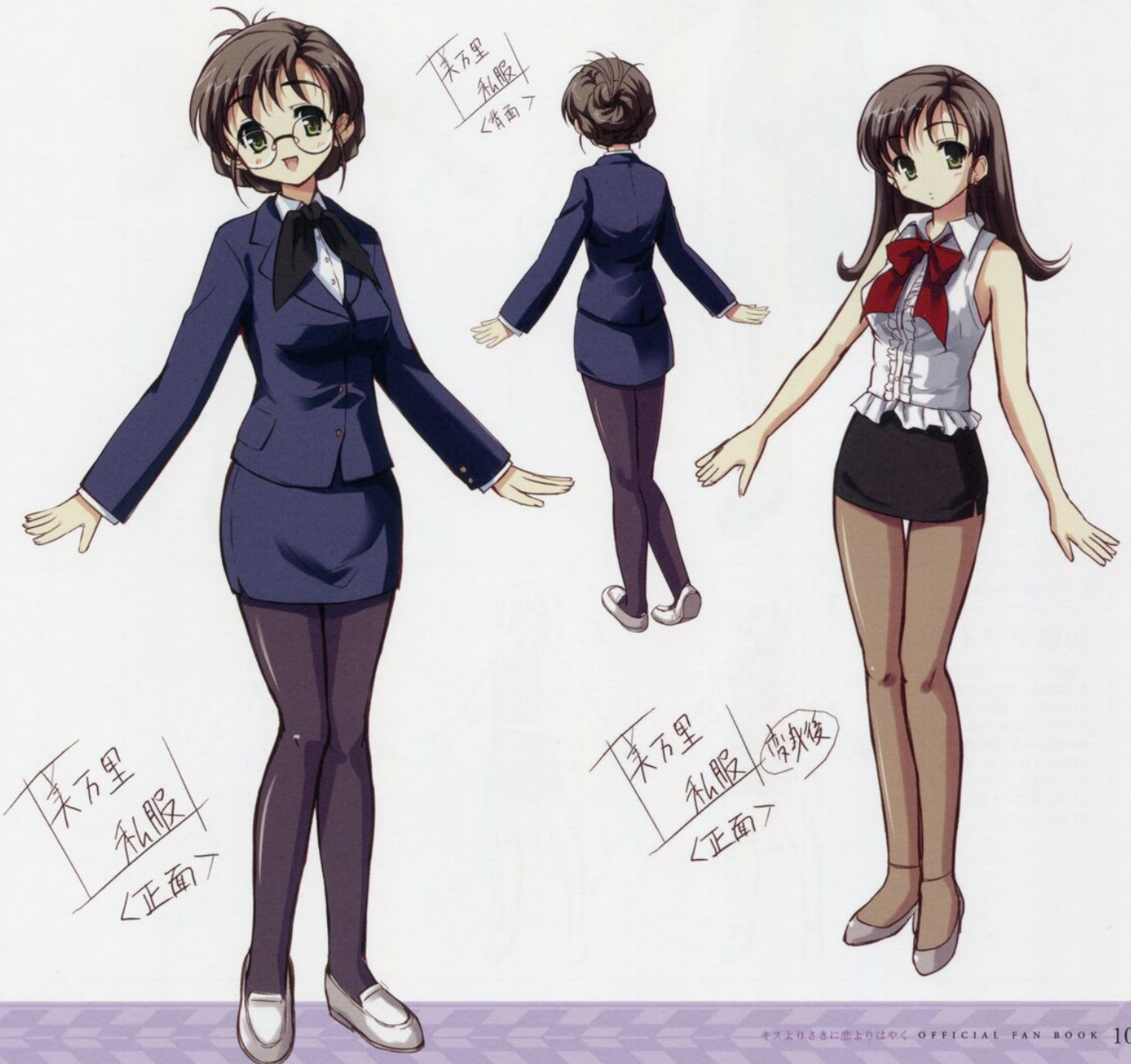
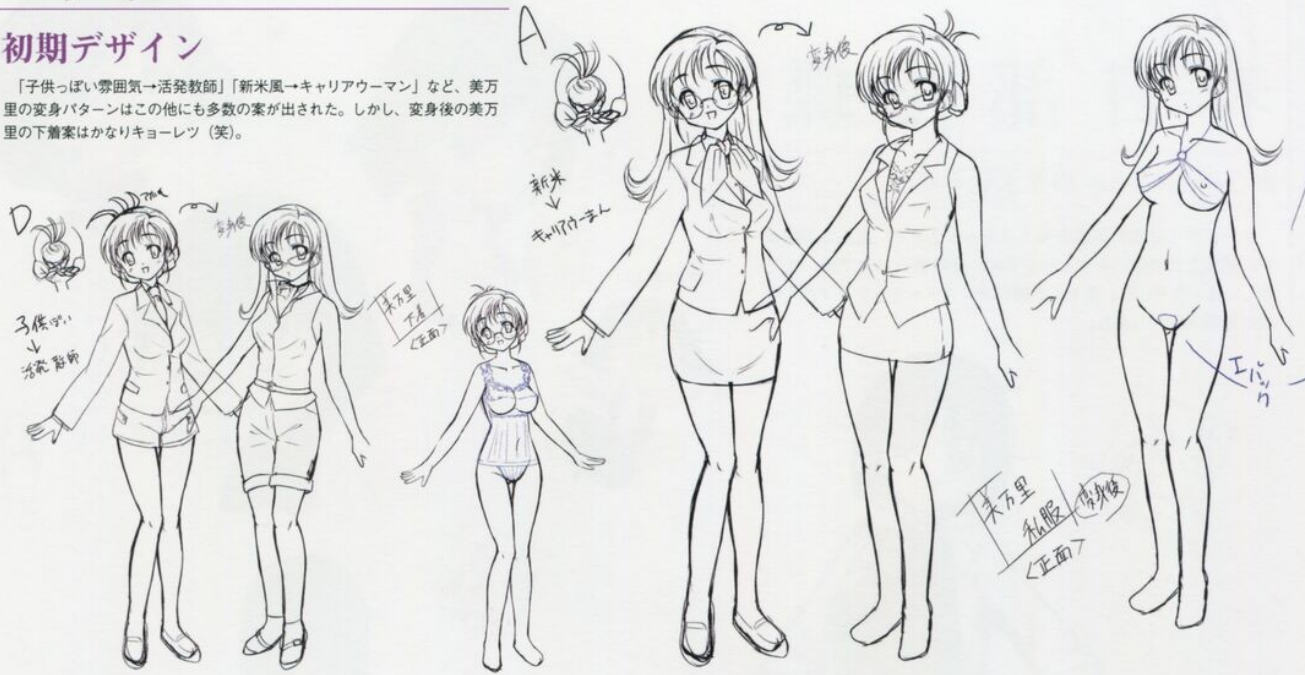
若い3人と差別化するように、それと前回参加した『はるとま』の冬子さんと被らないように、と描き分けに一番注意が  
いるキャラでした。そのおかげ  
か自分的には新しい引き出しが  
できた感じです。後半イメチェ  
ンするのも面白いですね。も  
うちょっと大人の色気を描きた  
かったかなあ。でもこんな可愛  
らしい先生はいませんよね(笑)。  
郁くんがうらやましいです。



Early design

初期デザイン

「子供っぽい雰囲気→活発教師」「新米風→キャリアウーマン」など、美万里の変身パターンはこの他にも多数の案が出された。しかし、変身後の美万里の下着案はかなりキョーレツ（笑）。



# 05 春日部花蝶

Comment from 唐辛子ひでゆ

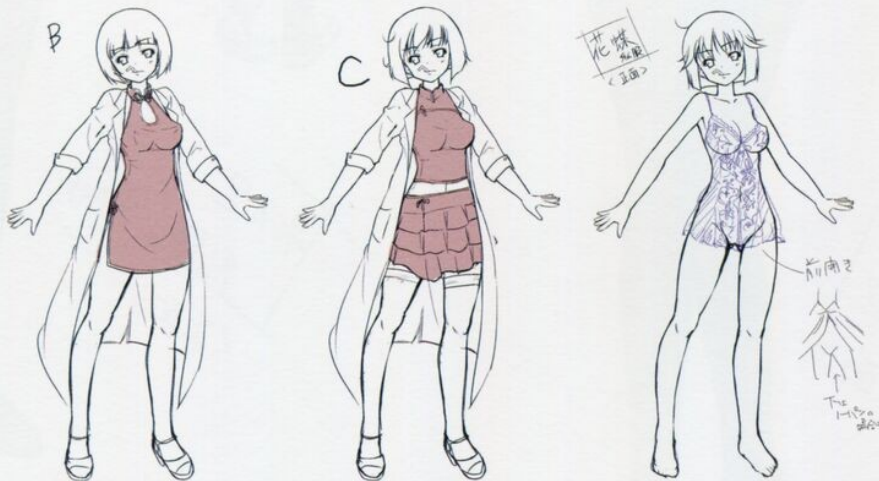
チャイナ+白衣の爆乳おねえさんってことで あんまり悩まずに設定どおり描いたキャラですが 表情豊かなので描いて楽しいキャラでした。チャイナ服のテクスチャをチマチマ描く作業が結構大変でしたね。



Early design

## 初期デザイン

最終的にはガサツな印象が強くなった花蝶だが、初期に提案されたデザインの中には、髪型が綺麗に整えられたセクシーなお姉さま風の案も。また、作中ではいきなり裸状態なので登場する機会はなかったが、下着案も考えられていた様子。デザイン脇に書かれたメモによると、「下はノーパンの場合も」あるらしい(笑)。



# 06 大宮 郁

Comment from 唐辛子ひでゆ

先生ってことで年齢差を意識して描いてたんですが ガタイ良すぎて突っ込まれてました。むむむ……。明治大正の貴族って何着てんだろってことでサスペンダーになりました。

Early design

## 初期デザイン

素朴な短髪、ちょっと都会的な匂いも感じさせる横分け、その中間に当たる好青年風など、郁の髪型もいろいろ考えられていた。最終的には、好青年風をベースに発展させたイメージだろうか。



# 07 本庄 ハヤタ

Comment from 唐辛子ひでゆ

わりと二枚目キャラって設定でデザインしたと思います。こんな斜め上キャラになるとはっ……。袴の生徒と並んでおかしくないようにってことで男性のデザインもレトロな雰囲気を意識して描いてますね。

Early design

## 初期デザイン

本庄先生の私服案。二枚目路線でデザインされていたため、私服もクールなイメージ。しかし、どんな私生活を送っているのか、あまり詳しく想像したくないキャラだ。



# 08 騎西 範先

Comment from 唐辛子ひでゆ

瑠璃歌ババに関しては、とっても明確な指定があったので プロレスファンの方ならニンマリしてくれるのでは (笑)。ゲーム中でも瞬時にムードを叩き壊す味のあるキャラになってますね。



# 秘蔵原画コレクション *Format Graphics*

綺麗に塗られたCGも素晴らしいが、唐辛子ひでゆ氏の描く線の魅力を、そのままの形で味わえる原画もまたオツなもの。描いたご本人のコメントも併せて読めば、見逃していた何かを再発見できるかも？

## 01 ヒロイン集合



### みんなでご飯

Comment from 唐辛子ひでゆ

ご飯中の絵を描くのは楽しいです。差分が出たり入ったりするのでちょっと手のかかる絵でした。ひとり暮らしの方はPCの壁紙にして一緒にお食事気分をお楽しみください(笑)。自分も御相伴に預かりたいです。

### 温泉にて

Comment from 唐辛子ひでゆ

温泉の絵ですね。雑誌や広報に使うためにかなり最初に描いた絵だと思います。こういう絵はおっぱい比喩的な描き分けが楽しいですね。背景は瓦を描くのに挫折して地味に3Dで原画を作っています。





## 乙姫 VS 瑠璃歌

Comment from 唐辛子ひでゆ

花嫁対決シーンですね。ちょっと瑠璃歌がかわいそうかなと思いつつも、黒い乙姫を描くのは楽しかったです。

## お手伝いのはずが!?

Comment from 唐辛子ひでゆ

お手伝いのシーンですね。楽しそうな雰囲気とドタバタ感を出したかったので 構図がちょっと大変でしたね。



## 乙姫 VS 美万里

竜虎相打つ……もとい、子守熊と大熊猫のらみ合い。郁をめぐって火花を散らす女の姿は鬼気迫るものがある。慌てる瑠璃歌と我関せずな有海、それぞれの様子も面白い。



## いつきとお瑠璃

過去の世界からの一場面。宮司の元に足しげく通っていたお瑠璃の前に、いつきという強力なライバルが出現。構図的にも、いつきが宮司とお瑠璃の間に割って入ったような雰囲気。

# 02 朝霧乙姫



## 婚姻の儀

Comment from 唐辛子ひでゆ

婚姻の儀のシーンですね。完成図はアップの絵なので周りは描かれていませんが、神前式の雰囲気はわからなくて苦労した覚えが。以前は花嫁といえばウェディングドレスだろ派だったのですが、和装もいいなあとちょっと思いました。

## 料理はお手のもの

Comment from 唐辛子ひでゆ

炊事中の乙姫ちゃんです。この絵は結構お気に入り。新妻乙姫のキーイメージみたいな位置付けだったので力入れて描きました。それにしても今どきこんな設備で炊事したらどんだけ大変だよ。



## 立ち絵原画





## 胸元からポロリ!?

Comment from 唐辛子ひでゆ

一番最初に書いたイベントCGがこれだった気がするんですが。う〜ん、けしからん乳っ。

## 白無垢姿の乙姫と

Comment from 唐辛子ひでゆ

花嫁衣裳でエッチ。男の野望ですね(笑)。下着はさらしと腰巻なんですが、個人的には揮推しでした(笑)。



### 乙姫との出会い

一番最後に描かれたという原画。ちんまりとした体を着物が包んでいる感じが唐辛子ひでゆ氏のお気に入りらしい。細部までこだわった、リアルな着物の雰囲気も見ごたえがある。



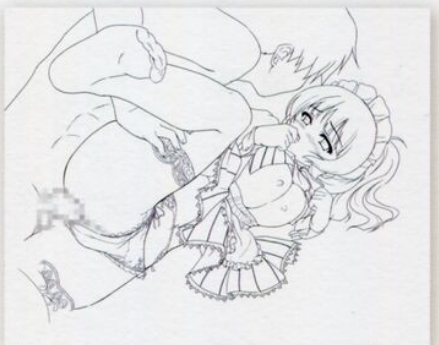
### 泉での再会

思い出の泉で郁と乙姫が再会した場面。不可思議な「可能性の世界」で起こる出来事は、彼女が揺らす水面の波紋のように、互いに交差し、互いに影響を与えながら拡散していく。



### 乙姫のご奉仕

基本的には清楚でおしとやか(その実腹黒いという世界もあるが)な乙姫だが、イメージとは裏腹になかなか大きな胸を持っている。とても柔らかくそうに描かれた胸の線に注目。



### ウエイトレス姿で

郁と有海の浮気行為を聞き、自分にも同じプレイをするように迫る場面。とろんとした表情や口に添えられた手、ひよいと横にずらされた下着などが、乙姫ファンならずともたまらない。

# 03 騎西瑠璃歌



## ねぼすけ瑠璃歌

Comment from 唐辛子ひでゆ

おにちゃまとネンネ的な……。瑠璃歌はこういうおいしいシーンが多くて 描いてて楽しかったですね。

## お風呂で仲直り

Comment from 唐辛子ひでゆ

おにちゃまとお風呂的なシーンですね。ユーザーさんが一緒に入ってる感を出したくてこの構図になりました。髪をほどいた瑠璃歌ってのがツボです。



## 立ち絵原画





## 湖畔での交わり

Comment from 唐辛子ひでゆ

これは定番の構図というか……。んー。割れ目がモザイクでお届けできないのが残念です。

## 結ばれたふたり

Comment from 唐辛子ひでゆ

瑠璃歌のドレスはこの絵こっさりなのでかなり好き勝手に描かせてもらいました。グラフィッカーさんの塗ってくれた絨毯がなんかすごい豪華でびっくり。



### 転校生・瑠璃歌

学園に転校してきた直後、郁と乙姫の秘密をばらしてしまう場面。猫をかぶっているように見えて大胆な（本人にとってはそうでもない）発言をするのが「蝶の見た夢」の瑠璃歌。



### お風呂でごしごし

郁の上ですっかり乗ってしまう、瑠璃歌の小さな体。きつと「入っている」状態ではキスもままならないはず。濡れた髪のラインも観る者の心をくすぐるポイント。



### 小さなお口で

瑠璃歌の小さな手が、お口が、郁の大きなモノの上を這っていく。ともすれば罪悪感すら感じかねない一枚だが、そこがまた堪らないことは言うまでもない。



### ひまわり畑の中で

エンディングより。少女（瑠璃歌は一応大人ではあるが）とひまわりという定番の題材だが、オーソドックスであるがゆえに難しい組み合わせをしっかりと描ききっている。

# 04 鶴ヶ島有海



## 喫茶店にて

Comment from 唐辛子ひでゆ

喫茶店のワンシーン。パパとの微妙な距離感がちゃんとでてるでしょうか。CGさんが描いた後ろの額がとっても気に入ります(笑)

## パパとの別れ

Comment from 唐辛子ひでゆ

ちっさい有海。結構ショッキングなシーンですね。倒れたパパをどこまで描いていいのか迷いました。



## 立ち絵原画





## コスプレがお好き？

Comment from 唐辛子ひでゆ

猫コスは意外と人気だったようです。このままでもエロい服なんですけど、最初は紐にボンボンがついただけのあられもない格好だったりして……結果、自重させられました(笑)。

## お店の中で

Comment from 唐辛子ひでゆ

喫茶店のコスチュームはエッチしやすいように、とデザインしたので。ちゃんと活用されているわけですね(笑)。



### ねこと有海

巨大なメタボ猫「ぬー」を抱っこしながら郁と会話する場面。猫の気持ちを代弁するフリをしつつ、言にくいことや本音をズバリと言う、したたかさが有海の魅力？



### マタタビでごろにゃん

なぜか猫用のマタタビが効いてしまい、ふにゃふにゃになった有海。ありえないくらい捲れているスカートは純粋なサービスか。迫り来る乙姫と瑠璃歌の崩れ具合も面白い。



### 有海の想いに応えて

大好きなパパ、いや郁に後ろから抱きかかえられる有海。普段のクールな様子とはギャップのある、恥ずかしそうな表情。パンツにも手を入れてしまっている。



### パパと一緒に

とんでもないスカートの捲れっぷり。観者の心情を代弁するなら、「実にけしからん、もっと見せたまえ」といったところか。有海のエンディングからの一枚。

# 05 入間美万里



## 頼れる先輩教師

Comment from 唐辛子ひでゆ

勉強を教えてるシーンってなんか貴重ですね。ちょっとパンツ見せすぎた気もしますがサービスサービスってことで。そういえば郁君って何か授業してましたっけ？

## 立ち絵原画



## 酔っぱらい美万里

Comment from 唐辛子ひでゆ

酔っ払った女性って 3割増しくらいで可愛くみえると思います……。美万里さんの場合は……どうなんだろう……。百面相的に表情が変わる場面なので 描いてて楽しかったです。





## 足を使って!?

Comment from 唐辛子ひでゆ

体が動く差分はそんなになかったと思うんですが、この絵は股をバカバカさせて遊んでました(笑)。

## 新婚旅行

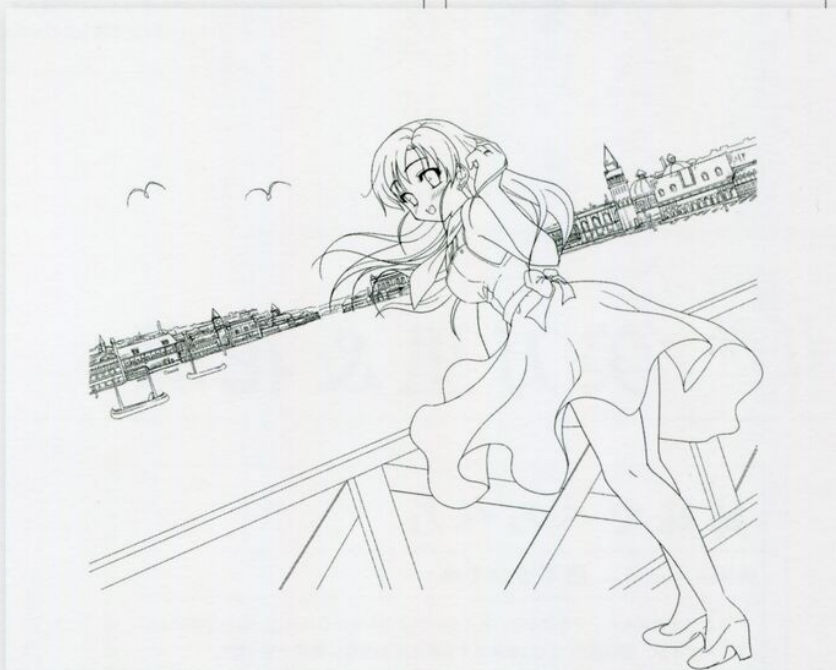
Comment from 唐辛子ひでゆ

なんかパリエンヌっぽいって指定で描いた気がします。こういうCGがあるのは美万里さんだけですから、結構めぐまれてたのかな。



## 食卓を囲んで

普通に食事をするシーンだけでなく、美万里が足でイタズラするシーンでも使われている絵。足の間のパンツも気になるところだが、和んだ雰囲気の表情がほほえましい。



## スーツのまま…

地味バージョンの美万里との初エッチ。郁の認識によって現在の状態や、過去の経緯がころころと変わる美万里は、ある意味この作品のヒロインたちの特性を端的に表している。



## 手首にリボン

腕を縛られた状態で、郁の体の上に寄せられたところ。瑠璃歌を乗せた場合とは異なり、かなりのボリューム感を楽しめる。突き上げるたびに、胸や二の腕がぶるぶると揺れそう?



## シックスナイン

酔っぱらって ちょっとトリッキーなプレイを仕掛けてきた美万里さん。なにげに下着の形も大胆になっており、地味だったころとは好みも変わってきているようだ。

# 06 春日部花蝶

## 気づいてみたら!?

Comment from 唐辛子ひでゆ

目覚めたらラブホで犯されてるという衝撃のシーンなので インパクトのある構図にしました。結構ムチャなポーズですが……。でも、ふと目覚めてこんなことになってるなら大歓迎ですよ (笑)。



## 花蝶との未来

Comment from 唐辛子ひでゆ

これは結構お気に入りかも。乙女な花蝶さんをもってここで描きました。10年前ならヒロインで通ったのかなあ (笑)。

## 立ち絵原画



# 07 美万里 & 花蝶

## 姉妹でぺろぺろ

Comment from 唐辛子ひでゆ

これはなんとも……うらやましいとしかいいようのないシーンで。自分で描いてなんですが、超巨乳の二人に挟まれてもはみ出る巨根に驚愕です (笑)。



## 居酒屋にて

Comment from 唐辛子ひでゆ

これは差分でひとりずつになったときのバランスが難しく苦肉の策で狸をおいてみたんですが、なんかシナリオでもネタになっていてこれ幸いって感じでした。二人と飲んだら酔い潰されそうですね。

# 08 販促用イラスト



## オフィシャル 通販特典テレカ

Comment from 唐辛子ひでゆ

脱衣所で着替えてるという設定です。長襦袢だけだとテレカには地味だったので ありえないですが一気に入全部脱いじゃうってシーンになってます。

## テックジャイアン 描き下ろし

Comment from 唐辛子ひでゆ

これはパッケージにも使ってますが、制作発表用に初めに描いた販促イラストです。まだこなれてない感が見てわかりますね。でも一番世界観を表している絵なのかなと。



## げっちゅ屋 特典テレカ

Comment from 唐辛子ひでゆ

有海をピンで描くのはなかなか新鮮でした。塗りをキレイに仕上げてもらったのでテレカの中では一番お気に入りです。猫かわいい。



## パッケージイラスト

乙姫、瑠璃歌、有海、メインキャラ3人が手をつないでいるイラスト。物語の中で重要なポイントとなってくる「可能性の連なり」を視覚的に表現している構図なのだろうか。

『キスよりはやく恋よりさきに』

シナリオライターインタビュー

Scenario Writer Interview

『きすこい』の完成度の高い物語を綴った3人のシナリオライターたち。  
いずれも大ベテランにもかかわらず、ざっくばらんな雰囲気です。

『きすこい』の特徴ある設定は  
このように作られた

——まずは制作の経緯をお願いします。

弘森 企画を考え始めたのはゲームの発売の1年前、2007年の10月ごろからです。

巳無月 僕は弘森がキャラの大枠を決めたあたりで制作に加わりました。最初はキャラごとに分担して書く予定だったんですが3人で構想を進めていくうちに、『蝶の見た夢』と『箱の中の猫』で担当を分けて書くことになりました。ちなみに僕は『蝶の見た夢』を担当しています。

素浪人 私は主に『箱の中の猫』を担当しました。ひとつ前の作品の仕上げの段階で忙しい最中にいろいろ相談してましたね。

巳無月 彼が忙しく作業している後ろで弘森と僕が相談し始めたりするわけです。すると彼も話に加わらざるをえなくなる(笑)。

——ちなみに2部構成になった理由とは？

弘森 まず前後編で雰囲気の違いにしたかったのがひとつです。もうひとつは、可能性の世界で謎を解決していくお話ということで普通のゲームなら選択肢で分かれるところを一本の話につなげてしまおうという試みですね。

——並行世界の話であることを活かすための仕掛け、ということですね。

弘森 はい。あとの設定は、まず和服ありきの作品だったので和服に合うヒロイン、和服に合う舞台…という感じで少しずつ固まってきた感じですね。

巳無月 最初は川越あたりを舞台のモデルとして考えていたんです。川越の古い時代の物が残る町並みとか雰囲気が好きなんです。で舞台を組み立てている最中に「海があると綺麗だね」「坂道があるといいよね」とか常時アイ

ディアや情報加わっていったという。

——『蝶の見た夢』と『箱の中の猫』はそれぞれどういった位置づけの話でしょうか？

巳無月 『蝶の見た夢』も、あまたある可能性のひとつなんですけど、こういう人物とお話である、という説明のパートでもあります。

素浪人 そして前編では消化されなかった葛藤が後編の『箱の中の猫』で解決される感じです。主人公は乙姫と結ばれる正解を探していろいろな世界を垣間見ていくわけです。

——キャラクターたちの性格も、前編と後編で微妙に変わっていますが。

弘森 実は性格が変わっているわけではなくて同じ内面なんだけど、出会っているタイミングが何日か違うだけで主人公への接し方が変わっているんです。逆に、有海だけは変わらないんですよ。彼女だけは前編で起こったことを経て後編に来ているんです。

絵にも大きな影響を受けた！  
乙姫 有海 ハヤタ

——ところで弘森さんは、最初にキャラクターをどの程度まで考えているのでしょうか？

弘森 大枠の部分だけを決めてあとは書き手によって味付けが変わっていく感じですね。例えばハヤタなどは、最初は普通の人だったんですが「寝取りキャラと勘ぐられるのも嫌だね」という話になって安全な人にしたわけです。

素浪人 よく解らないんですが巳無月に私に、「変態書くの得意でしょ」って言うので「あら、そうなのかしら？」みたいな感じで引き受けました(笑)。声優さんの口調とか想定しつつ、嬉々として書いてましたね。

——原画の唐辛子さんも、ハヤタがいつの間に

か性格が変わっていたとコメントしてましたね。

素浪人 一応謝罪したほうがいいんでしょうか(笑)。元は狂言回しみたいなポジションだったので表情も多くコンパートは容易でした。

——絵に影響を受ける部分も大きいとか？

弘森 ありますね。乙姫なんかもそうでもともと後編の性格がメインだったんですよ。

巳無月 あがってきた絵が可愛らしかったので前編の性格が生まれたところはありませんね。

素浪人 乙姫は本来はタフで運命に負けない、前向きな子なんです。自分の居場所を大切にしている。他の女の子とも明るく張り合って勝ち誇っちゃったりするような。でも、か弱いおしとやかな部分も持っているし、悲劇的な運命を背負っている。前後編に分けたことでその両方の面を十二分に描けているわけです。

——次は有海に関してお願いします。

巳無月 キャラが変わったといえば、口調とかが気に入って書いているうちにノってくる子っているんですよね。実は有海はもっとなやべらない予定でした。いわゆる無口キャラ。

弘森 有海といえばウエイトレスの服。正面はエロいながらも普通だったんですが背面の設定を見たらパンツが丸見え。さすがにそれはマズイだろうと自重してもらいました(笑)。

巳無月 そういう部分でも触発されて完全に無口ではなくちょっとズレた面白いキャラクターになりました。これも絵のおかげかな(笑)。

誕生秘話はまだまだ続く  
瑠璃歌 範先 美万里 花蝶

——では瑠璃歌についてですが。

素浪人 例えば瑠璃歌がメインで乙姫が脇を固めると、よくある図式になるんですよ。ライブ

PROF I L E

巳無月氏

『蝶の見た夢』のシナリオを担当。理知的な印象の人物だが「妄想をさせたらかなりのもの」とのこと。実にシナリオライターらしいお方。

素浪人氏

『箱の中の猫』のシナリオの他、立ち絵の演出のまじめな役割もこなす。落ち着いた本人の雰囲気とは裏腹に、変態キャラの描写がお得意とか。

弘森魚氏

プロデューサーのひろもりさかな氏とは同一人物。本作ではこの名義でシナリオも執筆。制作の終盤、未 completion部分などをヘルプ的に担当している。

ルにいじめられるヒロイン的な。でも彼女には主役補正がかからないので 乙姫には勝てません。負けて「うえーん」って泣くという(笑)。でも、そこが可愛いと思ってもらいたいなど。

**弘森** なんというか、妹だよな。乙姫につかかっていく立場というのは。

**素浪人** でもその妹の位置まで 乙姫にもってかれたりしますからね……。

**弘森** まあ瑠璃歌にはお父さんがついている(笑)。——ではその範先さんのお話を。

**弘森** 破壊的なお父さんも面白そうだなと。ハヤタは変態ではあっても、破壊的ではないですね。お話をパワフルに引っ張りまわしちゃう人が必要だなという話になりました。その辺を学園長に頼んしゃうと、学園長が簡単に攻略キャラから外れてしまうんです。

**巴無月** 範先が暴れた後に、場を收拾するのが瑠璃歌だったり、珍しくマジメな学園長だったりするわけです。でもパパが暴れた余波で話が進んだり、パパが引っ掻き回した結果、ヒロインたちが動いたり ヒロインたちが際立ったりする。そういう役回りのキャラクターですね。

——次は美万里をお願いします。

**弘森** 優しいお姉さん枠ですね。主人公にとって 普通だったら乙姫じゃなくてこの人を選ぶ、みたいな立場のキャラクターです。そうすると、乙姫との関係を秘密にする意味が出てきます。秘密だから逆に主人公に自然と近づく女の人がいて 乙姫がやきもきするっていう展開もあったり。そんな彼女の関係者として 学園長という派生も出てくる。美万里はお姉ちゃんでも可愛らしい系ですが 学園長は姉御キャラですね。

——美万里のイメージチェンジという要素はどの段階からあったのでしょうか。

**素浪人** イメージチェンジの案は最初から複数あったんですよ。学園長に無理強いされてイメージチェンとか、別の世界のひとつの可能性とか。

——美万里は世界が変わったことを表すキャラクターとしても機能しましたよね。

**巴無月** 実際、後編だと、この格好だから今は違う世界だと主人公が思う場面がいくつかありますよね。この格好をしているから、この美万里は違う世界の美万里だ、という風に。

——学園長は攻略できるのが意外でした。

**弘森** あれはオマケにしたかったんです。その位置のキャラクターってけっこう難しく。例えば瑠璃歌の位置のキャラクターをそれにしちゃうと、むしろ損をした気分になるんです。でも学園長の位置だと「お、エロとかエンディングがある」みたいに得をした気分になる。

**素浪人** 美万里よりも大人なキャラですから。



乙姫の本来の性格は「箱の中の猫」の乙姫寄りだという。プレイヤーは最初に登場する「蝶の見た夢」の印象を強く持つわけで、意外に思った方も多いはずだ。しかし、あのおしとやかな乙姫の中にも、実はいじわるな一面が潜んでいるのである。その逆もしかり。

ユーザーさんも攻略対象とは考えにくいかなと。

**弘森** あと、期待されてないキャラクターのほうが 可愛さを出したときに、逆にお客さんへのアピールになりますよね。

## 巴無月氏と素浪人氏の可能性の物語とは

——ところで、郁のように可能性の世界を旅できるとしたら、どんな世界に行きたいですか？

**素浪人** 巴無月の得意分野ですね。

**巴無月** そうなんですか？(笑) 例えば地球の大陸の形が少し違っていたら、今と同じ日本は存在しませんよね。まったく別の文化があると思うんで それを見に行ってみたいです。

**素浪人** 私は昔 髪を伸ばして後ろで縛っていたんですけど、それをやってなかった世界に行きたいですね。前髪が寂しくならず、丸坊主にしてないだろうな、とか。髪を伸ばしてなかったら、もっとやれるバイトとかも多くて この業界に入っていなかった可能性もあります(笑)。

——では、先ほどの質問と絡みますが、これまでの人生でやり直してみたいことはありますか？

**素浪人** また巴無月の得意分野がきましたね。彼は妄想を語らせるとかなりのものです。

**巴無月** ひどい(笑)。時間を巻き戻したいとか、締め切り前以外は考えたことないですよ。

**弘森** でも締め切り前に巻き戻されると、永遠に苦しいのが続くよ？

**巴無月** えーっ！(笑)

**素浪人** 私は思い切り小さな頃に戻って お母さんが自分のことを賢いと言っても、「いや、ほんとはアホやねん」と言いたいですね。

**巴無月** 過去に戻ってネガティブキャンペーンを始めるんですか(笑)。待ってくださいよ、他に何かないんですか？ あのときまで戻れたら、隣の席の子とフラグが立ってた、とか。

**素浪人** ないなあ。

**弘森** さっぱり選択肢が出やしねえ、みたいな。  
**素浪人** 私の人生は一本道だった、と(笑)。でもセーブ&ロードがあつたらどんなにいいから。何かやろうとしてたのに別の作業を始めてしまって しばらく経過してから「あ、ロードしなきゃ」と素で思ったことがあります。

——ではまともに入ろうと思います。この本を読んでいるみなさんにひと言をお願いします。

**巴無月** 正直ゲームの中で 全部は語れていません。お話の流れとかテンポを良くするために、実はいっぱい削っているんです。それらがこのインタビューにいくらかでも載っていますので 少しでも多く知っていただけたら嬉しいです。

**素浪人** ではそれを受けた上で。何であれ、作品というのは受け手が受け取ってようやく完成する、というのが自分の考え方です。商品化で完成ではなくて ユーザーのみなさんがプレイして下さって その段階で初めて完成だと。もしまだプレイの途中だったりしたら、ぜひ最後まで遊んでもらえたらと思います。

# 唐辛子ひでゆ

キャラクターデザイン / 原画

『きすこい』のキャラクターたちのビジュアルを生み出した唐辛子ひでゆ氏。  
はたして氏はどんなことを考えながら絵を描いているのか。  
また『電撃 G's Festival! COMIC』で連載中のコミック版『きすこい』についてもコメントをいただいた。

今回の作品では、どのようなことを意識して絵を描いたのか教えてください。

まず 古い町並みを背景にしたときに、違和感がないようなデザインにすることが課題でした。一番意識したのは乙姫の構図やポーズとかです。現代もののセーラー服姿なんかだとお決まりの構図があったりするのですが、そのままでは使えないので袴や着物がキレイに見せられるように工夫する必要がありましたね。

あとは、甘えた瑠璃歌は密着感のある構図、有海はちょっと距離感を出して……みたいに、キャラごとの差別化はしました。

コミック版『きすこい』の魅力や見どころを教えてください。

まだ序盤ですが、今とっても苦勞しているところです。エロの制約があるのと、繰り返しプレイできるゲームと違って平行世界や時間軸の表現が難しいですね。

なので概念的なものは極力省略して 乙姫や有海、瑠璃歌、そして主人公の気持ちはどう絡み合っ て どういう結果を導くのか。そういうドラマ部分を掘り下げたいです。ゲームでは見にくい細かい表情やしぐさなんかも見たいですね。ぜひご期待ください。

キャラクターをデザインするときはどんな環境でアイデアを考えますか？

布団の中で考えます(笑)。漫画のネームを描くときなどもそうですが、イメージが空っぽの状態だと何時間机に向かっても出てこないで……。仕様書や資料写真とか全然関係ない雑誌とかをバラバラ見て材料となるイメージを詰め込んだら、布団の中に入って暖かくして 頭の中で粘土をコネコネする感じです。

大雑把な部分が固まったら、とにかくたくさん描きます。『きすこい』では、素体を作って着せ替え人形的にバージョンを作って組み合わせながら詰めていきました。

デザイン時にイメージした性格とギャップのあるキャラクターは？

乙姫かな。彼女は話の中でも、存在してる時空によって性格が変わっちゃうのでそのせいもあるかもしれませんが……。あとはハヤタ先生。ヲタクという設定は最初からありましたっけ？(笑)

和服と袴がお好きとのことですが、どういったところに魅力を感じますか。

オタク業界に目覚めたのが、明治大正が舞台のゲームキャラのせいだったりするの思出補正とかあるのかも。魅力は……地味なところ(笑)。貧乳で寸胴で地味子さんとかがとっても好みます。

ゲームで和服を描く時はエッチな感じに極端化したり、構造を簡略化して描きやすくなりすることが多いと思うんですが、今回はあまり和服のデザインを崩さず 本来のシルエットの美しさが表現できるように注意しました。その分、細部の構造とかシワの付き方とかで不自然にならないように苦勞しましたね。和服って大抵、おすましたポーズの資料しかないの で なかなか大変なんですよ。

『きすこい』関係で描かれた絵の中で一番気に入っているものは？

幼女乙姫です(笑)。たしか追加で増やしたCGで 一番最後に描いた原画です。スケジュールもひと段落していた頃なので 心に余裕をもって描けました。服に包まれる感じが可愛いかなと。

制作中の出来事などで印象に残ったことをお願いします。

ディレクターさんからカッチリ練った仕様書を送ってもらって 自分は遠く離れた京都で一人作画してるので 結構地味な作業なんです(汗)。うーん、そうですね。抱き枕とシーツなんかの大作は描きごたえがあったし、それに色が付いて 刷り上った実物を見たときはちょっと感動でした。使ってくれてるユーザーさん、いるのかなあ？

『きすこい』の主人公のように可能性の世界を旅できるとしたら、どんな世界に行ってみたいですか？

うわっ、なんか想像力試されますね……。『洋服が日本で普及せずに、いまだ袴っ娘が日常的に歩いている世界』とか。むしろ「服を着るという文化が発達せずに、みんな全裸の世界」とか(笑)。

これまでの人生で「時間を戻ってやり直したい!」と思ってしまう出来事などはありますか？

今より10キロくらい痩せてた頃に戻りたいとか……いろいろありすぎてどうにも……。絵を描き始めたのが大学4年頃からだだったので もっと早くやっときゃよかったとか……。ヲタク系の知識もそれ以前は皆無だったので 今でもあの作品の○○のイメージとか言われると、引き出しの無さとか痛感するんですよ。もし絵描きじゃなかったら何してたかなあ、というのも覗きに行ってみたいですね。

読者へのメッセージをお願いします。

『きすこい』をプレイしてくださった方、そしてこの本を読んで下さってる皆様、ありがとうございます! 楽しんでいただけましたでしょうか? 「良かった」「つまらなかった」など簡単な一言でも感想いただけましたら、嬉しいです。それがまた新しい作品へ繋がっていくと思います。そして また次回作? 次回作? でお会いできたらいいですね。ではでは。

# ひろもりさかな

プロデューサー / 企画 / 監督

作品のプロデュースのみならず、シナリオの根幹となる部分を手がけ、さらに各スタッフを統括するひろもりさかな氏。「きすこい」の制作秘話だけに留まらず、その制作に関する姿勢や考え方についてもコメントをいただいた。

## 「きすこい」のコンセプトをお願いします。

現在、SkyFishでは年に2タイトルをリリースしています。ブランドの共通のテーマは「少し不思議なお話」であり、春頃は『ソレイユ』シリーズ等のファンタジックな作品を、秋頃は『はるとま』等、恋愛寄りの作品を出しています。今回の「きすこい」は恋愛寄りの作品ですが、恋愛ものが好きな人だけでなく、普段はどちらかと言えば伝奇系、バトル系が好きな方にも楽しめる作品にしようと考えていました。

## プロデューサー／企画／監督とかなりの役割を兼任されていますが、お仕事の内容を教えてください。

プロデューサーはそのものズバリ、人員や予算の確保から雑用まで。制作以外のアウトラインを埋める仕事です。監督としては作品の管理もあるのですが、自分の場合はゲームの原作部分を担当しています。簡単にいってしまうと企画、原作です。具体的な作業としては、まずは原作的な物を書いて、原画やその他の発注資料を作ったり、みんなに割り振ることから始まります。

自分の場合、作品によっても関わり方はけっこう変わります。シナリオを書く場合もありますし、大まかな指示だけで後は任せちゃう場合もあります。シナリオに「弘森魚」のクレジットがある場合は、深く関わっていると思ってください。

## 「きすこい」のお話を思いついたきっかけや企画が固まるまでの経緯をお願いします。

時間や可能性をテーマにした作品は大好きです。タイムパラドックスもの、タイムトラベルもの。あるいはイフの物語など、映画や小説などでも好きなジャンルです。ゲームの場合、まさにそう言ったものを定義するジャンルだと思うのです。あるプレイではA子ちゃんとの物語、また別のときはB子ちゃんとエンディングって感じですね。そういう意味ではずっとやってみたかったテーマです。

もう一つは着物の女の子を見せること。今回の小袖模様は服の流れやシワに沿って変化しますから、簡単なテキストでは表現できません。シーン毎に描き込んだり直していかなくてはならないのです。従来の体制だと、とてもそんなコトでは採算が合わない。でも今ならツールもマシンも優秀ですから、チャレンジしてみようということになったわけです。まあ、グラフィッカーさんはやっぱり大変だったみたいですが……。

そして女の子達が和服と言うことで、それににあう古い街並みが決まり、今の「きすこい」のベースが出来上がったわけです。

## ヒロインである乙姫、瑠璃歌、有海、美万里はどのように生まれたのでしょうか。

キャラクターたちはまず乙姫ありきで生まれています。乙姫はいつの時代の人間かわかりにくい女の子と言ったコンセプトで、大和撫子で従順で理想的なタイプだけど、ちょっと腹黒くって一筋縄では行かない女の子です。瑠璃歌は真逆で西洋系のお嬢様タイプ。家族のいない乙姫に対してうさいほど出てくるバババがいて、プロポーションもちょうど反対の幼女体型。アンチ乙姫と言ったコンセプトです。有海は二人とはまた逆のタイプです。素直じゃなくてよくわからない女の子。それでいて自分（主人公）と深く関わりがありそう。また、どこか浮世離れしていると言った感じですね。美万里の場合は年上の乙姫です。基本は乙姫と同じタイプだけど、乙姫よりやや有利な立場にいるライバルと言った感じですね。

## SkyFishの作品はゲーム性やシナリオを重視した作風が多いと感じるのですが、そのこだわりの理由とは？

そう思っていたら嬉しいですが、いつも悪戦苦闘。日々精進という感じですね。ゲーム性という点ではやはりこだわっていきたくて考えています。アニメやコミックノベル……そう言ったジャンルとの差別化はやはり必要だと思うんです。その中のひとつとして、ゲームをゲームとして成り立たせる部分、ゲーム性は必要と考えています。また、美少女ゲームというジャンルにおいて、シナリオはとても重要です。シナリオ中心の感動系の作品だけではなく、例えばエロ中心の陵辱系の作品であっても、ヒロイン達の境遇など物語性は、そのキャラクター肉付け、お話しの中のシチュエーションを盛り上げるために必要不可欠なものだと考えています。

## 「きすこい」の主人公のように可能性の世界を旅できるとしたらどんな世界に行ってみたいですか？

俺専用ドラ○もんがいる世界……でしょうか。

## これまでの人生で「時間を戻ってやり直したい!」と思ってしまう出来事などはありますか？

山のようにあります！自分の人生は毎日巻き戻したいですけど、歴史上の事件が本当かどうかと確かめてみたいです。

## 今後のSkyFishの予定についてコメントをお願いします。

次回作は6月26日発売の『Primary (プライマリー) ~ Magical ★ Trouble ★ Scramble ~』です。こちらは魔法学園を舞台にした恋愛系のアドベンチャーです。従来の作品よりもかなりボリュームアップしていて、制作の方はこれを書いている現在(4月頃)が、まさにピークですね。原画は『白銀のソレイユ』の蔓木銅音くんです。ぜひぜひ、こちらも遊んでいただきたいと思っています。

また、『プライマリー』以後の予定もいろいろと決まっています。従来の流れとはちょっと変わって行くと思いますが、期待して損はない作品が続きますから、ぜひ楽しみにしてください。

## 読者へのメッセージをお願いします。

ゲームを作っていて、こう言ったファンブックが出るというのは凄く嬉しいことだと思っています。ゲームをプレイしただけではわからない制作の裏話や資料、そういったものがひとつの形になって、作品を好きな方に見て貰えるわけですから。読者のにも「ああ、そう言う意味だったか」とか「おお、こんなことが」と二度楽しめると思うんです。だから、もしファンブックを買ったけど、ゲームは遊んでいない方は、ぜひぜひ、ゲームの方も宜しく願いますね。ファンブックとゲームで2倍素敵な時間を過ごせますから！

# 声優さんからひとこと

ヒロインたちに命を吹き込んだ4人の声優さんに、演技のポイントや作品の印象などについてうかがってみました。  
声優さんの意外な素顔も明らかに!?



## 朝霧乙姫役 草柳順子

**A1)** 黒髪ロングヘアが大好きなので やった! と思いました(笑)。制服が矢絣に袴というのも個人的にツボでしたし、ポニーテールも好きなので カフェの制服姿にも萌え萌えしちゃいました!

**A2)** 展開が早かったので続きが気になり チェックを忘れて読み進めてしまいました。特に最終的にふたりが幸せになれるのかどうかが気になってドキドキしました。

**A3)** 最初の乙姫は、おしとやかなので感情の起伏を控え目に、でも暗くならないように注意しました。そこから色々な方向に演技を膨らませていきましたので 何度か最初の乙姫を聴かせていただいたり ディレクターさんと相談しながら収録を進めたりしました。性格が違うと台詞自体に、かなり変化がありましたし、台本も丁寧に作られていたせいか、あまり苦労せず楽しく演じられました。幼い頃の乙姫や、いつき様も、また違った感じで楽しかったです。

**A4)** 乙姫みたいな素敵な女の子と似ているなんて何を言っても、あまりにおこがましいような気がするのささいなことになっちゃいますが お兄様のことを怒っていても嫌になれないところとか、人でも物でも何かと「さん」付けたりするところ、かな? 似ていないのは、まず和服が着れません(汗)。そしてお料理も上手くないですし、家事も得意ではないです。自分で言っていて何だか情けなくなっちゃいますが 頑張り屋さんなところは似ているかなって思うので頑張ります!

**A5)** 「お兄様なんかっ…だっ、大好きなんですからあーっ!!」という台詞が好きです。笑っちゃうけど、なんか分かるな〜と思うので(笑)。あと、いつき様の台詞なんですけれど「乙姫を泣かせたら私が許しませんって…言いましたよね?」自分のキャラクターは演じているうちに幸せになって欲しい気持ちが どんどん強くなるので いつき様が私の気持ちを代わりに言ってくれたようで嬉しかったです。なので好きなシーンは、もちろん! ハッピーエンドのシーンです!

**A6)** 声優のお仕事をしていない私が どんなお仕事をして どんな生活をしているか見てみたいです。でも見るだけで良いかな! 今のお仕事をしている自分を気に入っているのです。

**A7)** 短期間でしたが『きすこい』のwebラジオでパーソナリティーをやらせていただいたのですが あまりにグダグダだったので是非、初めからやり直したいです!

**A8)** みんな大好きです! こんな楽しいキャラクターたちとワイワイやれると楽しそうですし、乙姫以外は選びたくないのですが(笑)。うーん…強いていうなら有海ちゃん。猫がらみのイベントが多くて羨ましいです。

**A9)** 乙姫は新鮮で それでいて懐かしい気持ちにさせてくれるキャラクターでした。お仕事を始めて間もない頃を思い出したりしながら演じました。これからも乙姫のことを、よろしく願いますね。お兄様!



## 騎西瑠璃歌役 青葉りんご

**A1)** うわっ! 可愛い! 激☆ロリ! (□□;)!! ちょっとスカイフィッシュさん本当に大丈夫なんで あ、ちょっとそれ何ですかゲームテープですか!? え? 塞ぐ?! くち?! え? ……やりがいがありそうな子だと思いました。

**A2)** お話しがどんどん加速して行って 最後にトンネルを抜ける時みたいに、世界がパッと広がって 読み終わった後、あったかい気持ちになりました。自分が見てる世界も、可能性のひとつなんだよなあ ……といろいろ考えてしまいました。

**A3)** もともと子供の部分と大人の部分のふたつの顔を持つてる子なので 周りの状況に合わせて優しくしたり はしゃいでみたり…ああ見えて空気読める子です!(笑)

**A4)** 駄々っ子なところは似てますかね…(°^°) あと負けず嫌いなんだけど、すぐ負けて泣くところとか。似てないのは…頭いいところ?

**A5)** 「瑠璃歌が一番かわいい〜のっ! (≧ロ≦)」その通りだよ! 瑠璃歌ちゃん! (//▽//)ハァハァ! 瑠璃歌ちゃんのパパを演じる胸肩さんとのプロレスシーンは燃えました。

**A6)** 北欧神話の世界に行って ヴァルキリーに会う! サインしてもらおう(≧▽≦) >

**A7)** えっ? ……女にはね…色々あるのよ…。

**A8)** パパ! パパババババババ! 次回はぜひパパと瑠璃歌ちゃんの間隙ゲームを! 乙姫ちゃんはラスボス的位置で(笑)。

**A9)** りんごも演しながら、ハマってしまった『きすこい』。少し大人になって改めてプレイしたら、前とまた違った気持ちになれるかもしれません。過去の自分を振り返りつつ、何度でもプレイしてください。未永く 瑠璃歌ちゃんをよろしく願っています。

- Q1) 自分が演じるキャラクターを見たときの第一印象は？  
 Q2) シナリオを読んだときの感想をお願いします。  
 Q3) 世界によってキャラクターの性格が変わりますが、演じ分けるうえで意識した点を教えてください。  
 Q4) 演じたキャラクターとご自身の性格に共通点はありますか？ 逆に自分とは違う点は？  
 Q5) 印象に残っているセリフや場面を教えてください。

- Q6) 郁のように可能性の世界を旅できるとしたら、どんな世界に行きたいですか？  
 Q7) これまでの人生で「時間を戻ってやり直したい!」と思った出来事がありますか？  
 Q8) 自分が演じたキャラクター以外でお気に入りの登場人物は？  
 Q9) ファンの方にメッセージをお願いします。



## 鶴ヶ島有海役 上田朱音

A1) とにかく可愛い〜! そして猫っぽい子だーと思いました。ふたつに結っているヘアスタイルがネコミミっぽくて! 個人的には、おでこが可愛くて気に入ってます。

A2) 有海ちゃんはいろんな可能性やこの先を知っているけど、私自身は、これはどういうことなんだろう……? とドキドキワクワクしながら読み進めていきました。謎がだんだん解けていくのも、気持ちよかったです! せつなかったり あったかかったり……一喜一憂してました!

A3) 感情を大きく表現することが少ない有海ちゃんなのですが、パパと結ばれた世界では「パパ好きだよー!」っていう気持ちをいっぱい出しました。苦労した点は、たくさんありすぎて……汗と涙の結晶です!!

A4) 共通点は、同じネコ派なところですかね〜。逆に違うと思ったところは、クーデレ?… クールなところ。どちらかという、私自身はホットな女だと思っています(笑)。

A5) 「良いの?良いかな?」「可愛いよね。可愛いと思うよ。うん、可愛い。」みたいな同じ言葉を自分自身に確認したり 相手に問いかけたりといった、繰り返すセリフがたくさんあったことが印象に残っています。ひそかに有海語と呼んでました(笑)。好きな場面は、パパ・乙姫ちゃん・瑠璃歌ちゃんといっしょにゴハンを食べてるシーンです。にんまりしちゃいます!

A6) 自分の小さかった頃(3、4才くらい)の世界に行ってみたくです。母からよく「あなたは、やんちゃやったわ〜」という話をよく聞くので(お椀をふたつ合わせ、ガムテープでグルグル巻きにしてボールを作ってみたり……といったいろいろなエピソードを聞きます)。どんなやんちゃ娘だったのか、実際にこの目で見てみたいです!

A7) しいて言えば……マンガの単行本、同じ巻を2度買ってしまった時です。「あっ!やっちゃったな……」と(笑)。

A8) どのキャラクターも魅力的なのですが……特に美万里先生と本庄先生がお気に入りです。美万里先生はイメチェン姿がすごく可愛くて! あんなお姉ちゃん欲しいです! 本庄先生は、いい味出しすぎです!!!

A9) 最後まで読んでくださって ありがとうございます。「きすこい」は初ヒロインを演じさせていただいた、私にとっても大切な作品です。また、キス恋ラジオでは初めてのパーソナリティということもあり、毎回ドキドキしながらの収録でした!ゲームを楽しみにしてくださっているリスナーさんと繋がりをもてたこと、「キスよりさきに恋よりはやく」というステキな作品に関らせていただけたこと、有海ちゃんに会えたこと、とっても嬉しく思います!



## 人間美万里役 まきいづみ

A1) メガネだー。お姉ちゃんだー。髪の毛、ひつつめだー。ということは、ちゃんとしたら美人で巨乳かな?

A2) テンボが良さそうだなー。わかりやすい性格だなー。お姉ちゃんぶって なかなか素直になれないんだー。

A3) うんと……あれれ? どうだったろう? あんまり苦労した記憶がないです〜。

A4) 共通は、焼き餅やきなごころ。違うのは、あんなにボンボン言ったりはしないです。もっともっとわかりにくく焼き餅やきます!

A5) どこと具体的ではないのですが 全体的に、お姉ちゃんぶってても、全然なりきれないところが好きです。

A6) 自分が好きな人と、姉弟(兄妹)である世界♪ 子供の頃から、うんと甘えたり甘やかせたりしたいです。

A7) そーですな。あるにはありますけどね。ここで書くには、ちょっと。なのでバス1回♪♪ あ、食べたものが不味かった後に、美味しいものが出てきても満腹で食べられないと、さっき食べたのをなかったことにしたくなります。

A8) 花蝶さん。可愛い宮沢ゆあなちゃんが演じているので。他のキャラより 倍に集中して見てしまいます。

A9) きすこい、好きになってくれて ファンブックまで手にとってください 本庄先生、ありがとうございます!! もしかしら、ちょっと年上かもしれないけど、なのに中身は子供っぽいかもしれませんが、美万里も気に入ってやってください♪♪

# まにょっ MANYO氏メールインタビュー

「きすこい」コンポーザ

SkyFish 作品のオープニングやエンディング、ゲーム中の BGM を手がける MANYO (まにょっ) 氏。世界の雰囲気や物語のイメージをより膨らませてくれる、素晴らしい曲の数々を手がけた氏に『きすこい』の曲の制作についてうかがった。

## Q1. 『きすこい』の曲作りでは SkyFish さんからどんな要望がありましたか。

各々の曲調以外では特に要望はなかったです。ゲームの世界観、背景、登場人物等、資料から膨らませて下さい、といった具合で。自由に出来ま

すが その分見えないプレッシャーも大きいです (笑)。SkyFish さんとの仕事はいつもそんな感じだと思います。

## Q2. 作品全体の BGM のコンセプトや制作中に特に意識されていた点は？

舞台が現代的な部分と和風があった部分があるので その辺はバランスよく織り込みたいとは思ってました。あとは透明感でしょうか。聞いてい

ると、澄んだ青い空が思い浮かぶような……いただいた資料も空の青が印象的だったので それを頭に叩き込んで制作していました。

## Q3. 特に思い入れの深い曲とその制作時のエピソードを教えてください。

この一曲、という感じではないんですが 日常シーンの曲は毎回色々なことを考えます。現在の ADV では必ずあるシチュエーションなので 予定調和とマンネリの境目が難しいですね。今回は曲調はあまり捻らず音色で

特徴 (透明感) を付けようと頑張ったんですが 上手くいっていることを祈ります……。

## Q4. 生の楽器もかなり使われていますがやはりこだわりのポイントなのでしょうか。

SkyFish さんのお付き合いが始まる少し前から出来る限り生音は入れるようにしてきたんですが 最近は全体の雰囲気を見て 自然な形で入ってくるように意識しています。具体的には頭の中で曲のイメージを描いてそこに生楽器が必要だと思えば入れるといった感じでしょうか。なので『白銀のソレイユ』の頃と比べると生楽器の比率は減っているはず。ケ

チってるわけではないですよ!) とにかくシーンにとけ込むように、という一念で調整していますね。曲が豪華になっても、浮いてしまったら元も子もないですから。まあそうは言いつつも、ベースソロとか細かい遊びも少し入れてます (笑)。

## Q5. オープニングテーマ『Gerbera 希望の花』の制作秘話を教えてください。

BGM と同じように透明感、というのはひとつのキーワードになっていた気がします。それと同時にゲームの顔となるような疾走感を感じてもらえるように頑張りました。歌詞はおなじみの真理絵さんなので出来上がる前か

ら安心してました。声に出した時の響きが考えられてて 作曲側としても嬉しい配慮です。

## Q6. エンディングテーマ『フタリユラリ』の制作秘話を教えてください。

あまり今までにない曲調指定だったので 固まるまでは結構試行錯誤したのを記憶しています。メロディに関しては書き終えた後も大丈夫かな、

という想いが多少あったんですが サビ頭の歌詞フレーズが上手くはまっていた良かったです。真理絵様々 歌詞様々ですね (笑)。

## Q7. 最後にこのコメントを読んでいるファンにメッセージをお願いします。

「きすこい」、BGM を含めいかがだったでしょうか? このファンブックを手に行っているということは気に入っていただけだと、勝手に解釈することにします (笑)。ありがとうございます。今後とも、ゲームを盛り上げる一

員として頑張っていきたいと思いますので SkyFish & MANYO をよろしくお願いします!

# 『きすこい』攻略ガイド Chapter

本編では乙姫と結ばれる郁だが、“別の世界”のお話として他のヒロインとのエピソードも楽しむことができる。ここでは各ヒロインのイベントを回収しつつ、それぞれのエンディングへ至るための選択肢を紹介しよう。



## 朝霧乙姫

第一章「蝶の見た夢」の第五話、花蝶とお酒を飲む場面で登場する2回の選択肢は、Hイベントの分岐点。乙姫とのHシーンを堪能したいなら、花蝶をはぐらかす選択肢を選んで早めに乙姫のもとへ帰ろう。また、第三章「夢のつづき」での選択肢は、両方とも有海の気持ちを受け入れておくと、乙姫のエンディングを見ることができる。

第一章「蝶の見た夢」	
第五話	選択肢 彼氏はいないんですか？
第二章「箱の中の猫」	
第五話	選択肢 違う、何かが……俺の守りたい乙姫は？
第三章「夢のつづき」	
Epilog	選択肢 気持ちを受け止める
Epilog	選択肢 有海の気持ちを受け取る



花蝶にはかわいさうだが、さっさと帰宅して乙姫との濃厚Hを楽しませよう。



有海との関係は続けるのが吉、乙姫は障害が大きいため、いざという時に……



## 鶴ヶ島有海

「箱の中の猫」で注意すべき選択肢は第七話の「有海ちゃんのこと〜」のみ。あとは瑠璃歌、美万里どちら寄りを選択肢を選んでも構わない。「夢のつづき」では有海との関係を続けるか否か、2回選択肢が迫られる。最初は「気持ちを受け止める」を、2回目は有海のことを真剣に考えて「もう浮気はしないんだ…」を選ぼう。

第二章「箱の中の猫」	
第五話	選択肢 違う、何かが……俺の守りたい乙姫は？
第七話	選択肢 有海ちゃんのことにも気になる
第三章「夢のつづき」	
Epilog	選択肢 気持ちを受け止める
Epilog	選択肢 もう浮気はしないんだ…



「有海ちゃん」を選ばないと、第八話では有海の内面が詳しく語られる。



こんな状況で何もしていないのは残念な気もするが、ここは大人の対応を！



## 騎西瑠璃歌

瑠璃歌の場合、「箱の中の猫」で大きな分岐点が2回ある。第六話では「俺、殺されちゃうかも」、第七話では「瑠璃歌ちゃんのこと〜」を選んでおこう。すると、「夢のつづき」で「こんな駄目だよな」を選んだ後、新たな選択肢が出現するので、そこで「あの可憐な蕾を……」を選べば、晴れて瑠璃歌エンディングへ！

第二章「箱の中の猫」	
第五話	選択肢 違う、何かが……俺の守りたい乙姫は？
第六話	選択肢 俺、殺されちゃうかも
第七話	選択肢 瑠璃歌ちゃんのことにも気になる
第三章「夢のつづき」	
Epilog	選択肢 こんな駄目だよな
Epilog	選択肢 あの可憐な蕾を……（※）



第二章では別世界を垣間見るだけとはいえ、瑠璃歌との新婚生活を味わおう。



「瑠璃歌ちゃん」を選ばないと、第八話も瑠璃歌にちなんだ内容に変化する。



## 人間美万里

「箱の中の猫」の第六話で「意外と〜」を選ぶと、Another Timeが美万里とのエピソードに。また花蝶とHに及ぶ場面では、「言葉で説得する」が正解だ。「夢のつづき」では「こんな駄目だよな」→「あの豊かな〜」を選ぼう。花蝶ルートから美万里エンドに分岐する方法もあるが、それについては花蝶の項で詳しく紹介する。

第二章「箱の中の猫」	
第五話	選択肢 違う、何かが……俺の守りたい乙姫は？
第六話	選択肢 意外と大人の反応かも
Another Time	選択肢 言葉で説得する
第三章「夢のつづき」	
Epilog	選択肢 こんな駄目だよな
Epilog	選択肢 あの豊かな影らみを……（※）



ものすごい展開だが、これは雲間気には飲まれません、冷静に言葉で説得しよう。



普段生真面目な反動か、恋人同士の世界では秘にデレレの美万里姉さん。



## 春日部花蝶

「蝶の見た夢」では「弟に〜」→「俺でよければ〜」と優しい言葉をかけて花蝶とのHイベントに発展させよう。また「箱の中の猫」では、美万里のAnother Timeで「体で証拠〜」を選ぶと、美万里との恋人生活だったはずが姉妹ふたりで郁を共有する展開となる。さらに「夢のつづき」で「あの明るい〜」→「花蝶さん〜」を選択すれば花蝶エンドへ。ちなみに最後の選択肢で「美万里姉さん〜」を選ぶと美万里エンドへ分岐する。

第一章「蝶の見た夢」	
第五話	選択肢 弟にならましようか…？
第五話	選択肢 俺でよければ頑張ります
第二章「箱の中の猫」	
第五話	選択肢 違う、何かが……俺の守りたい乙姫は？
第六話	選択肢 意外と大人の反応かも
Another Time	選択肢 体で証拠を示す
第三章「夢のつづき」	
Epilog	選択肢 こんな駄目だよな
Epilog	選択肢 あの明るい笑顔を……（※）
Epilog	選択肢 花蝶さんのことが…



こう見えても、実はいろいろな悩みを抱える花蝶さん。人の世話を焼いたり相談に乗るばかりでなく、たまには自分も男性に寄りかかりたい時だってあるのだ！ その溜まりに溜まったストレスを発散してあげよう。



この郁を取り合う場面での選択によって花蝶エンドか美万里エンドかが決まる。なお、こちらのルートを通して美万里エンドへ辿り着いても、エンディングの内容自体はまったく同じなので、好きな方法でどうぞ。

（※）第二章「箱の中の猫」の選択状況によっては、選択肢そのものが表示されず自動的にこの条件が満たされる場合があります。



ツインテールブックス

## キスよりさきに恋よりはやく

オフィシャルファンブック

2009年6月1日 初版発行

発行人 中島充晶

発行所 株式会社彩文館出版

〒162-0805

東京都新宿区矢来町 114 高橋ビル 3F

TEL 03-3267-8533 FAX 03-3267-8534

印刷・製本所 凸版印刷株式会社

ライター 雲野征良

デザイン 森隆博

カバー&amp;ピンナップイラスト 唐辛子ひでゆ

監修 SkyFish

協力 LittleWing / 有限会社ロックンバナナ

『キスよりさきに恋よりはやく』開発スタッフのみなさん

企画・編集 GOODSTRAIN

ホームページ <http://www.goodstrain.jp/>Eメール [info@goodstrain.jp](mailto:info@goodstrain.jp)

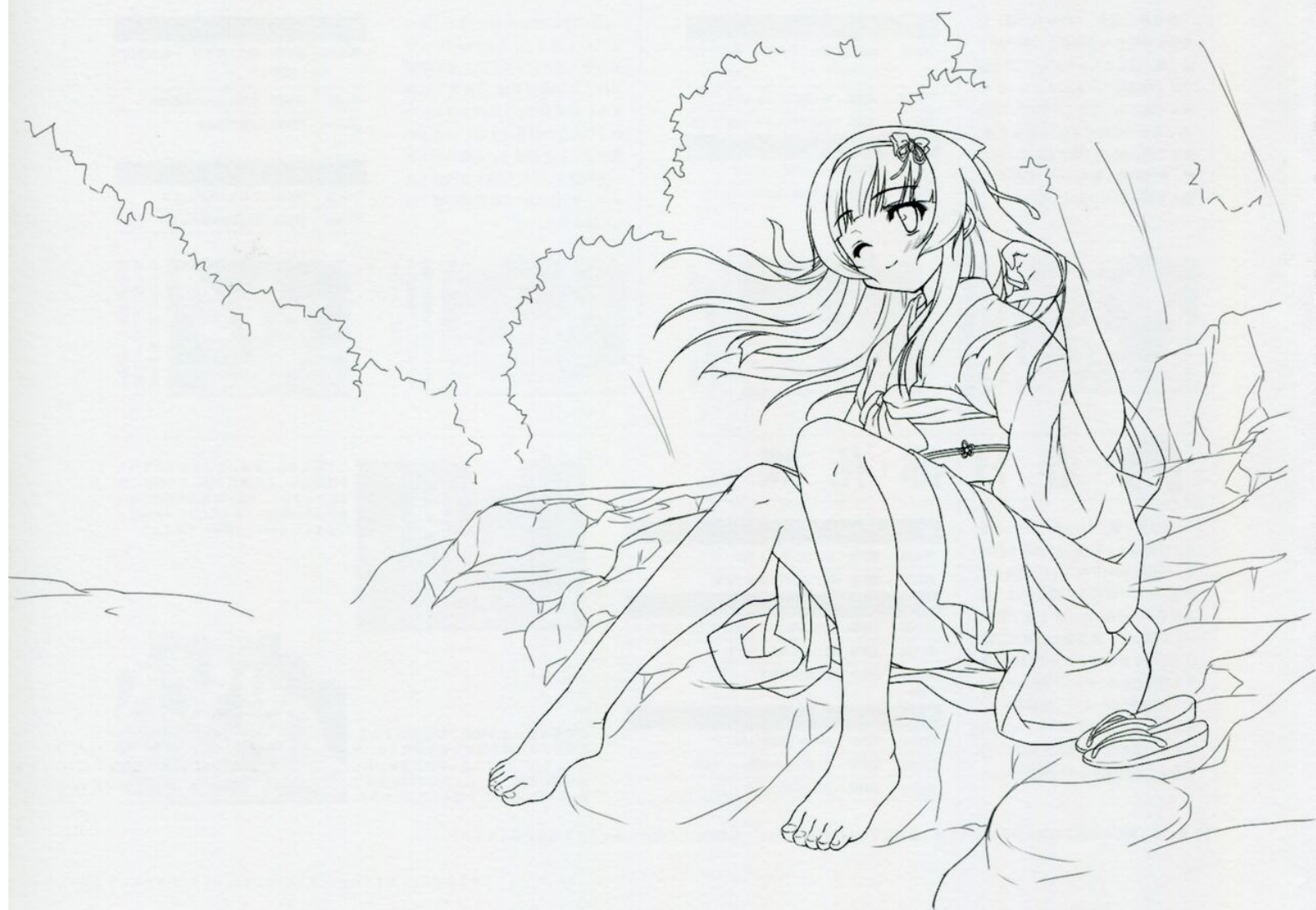
- 造本には十分注意しておりますが、万一、乱丁 落丁本は、購入された書店を明記して 小社あてにお送り下さい。送料小社負担にてお取替いたします。ただし、古書店で購入された物についてはお取り替えできません。
- 本書の無断複写（コピー） 上演 放送等は、法律で定められた場合を除き、著作権の侵害となります。
- ゲームの内容に関する質問には、一切お答えすることはできませんので予めご了承ください。

定価はカバーに表記されています。

©2008 Hobibox / SkyFish All rights reserved

Printed in Japan

ISBN978-4-7756-0399-4 C0076



ふいに  
ふいに  
した

ふりか  
ちゃんが



大女子 ~~お~~ きてです

血の繋がってる妹など、  
いるわけがないだろう？  
だが、それがいいッ!!

回

うれし泣き。  
お姉さん。



ながつき

オスロギ  
恋しがり



2/15



猫喫茶で癒されてきます。  
・ひろもり



2/15

超人硬度2.5 飛出!!